「寄り添うチカラ」で人々の感動と笑顔を生み出す

2027年3月期
第2四半期決算説明

2026年 11月12日（木）
株式会社アイティフォー
〔証券コード：4743〕
https://www.itfor.co.jp

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

エグゼクティブサマリー

業績

- 第2四半期として、前年同期比11.4%の増収、25.8%の営業増益
- 概ね計画通りの進捗につき、通期業績予想は据え置き
- 事業別売上高は、フィナンシャル事業、BPO事業が牽引
  また、前期第3四半期に連結子会社となったアイセルの売上高も寄与
- 売上総利益率、販管費率ともに改善し、営業利益率低下は底打ち

受注

- BPO事業を含むリカーリング案件などが牽引し、受注高は前年同期比24.5%増加
- 受注残高は前年同期比15.3%増加（システム開発・販売、リカーリングともに過去最高受注残高を計上）
- 高水準の受注残高により、今後の収益拡大に向けた強固な基盤を確保

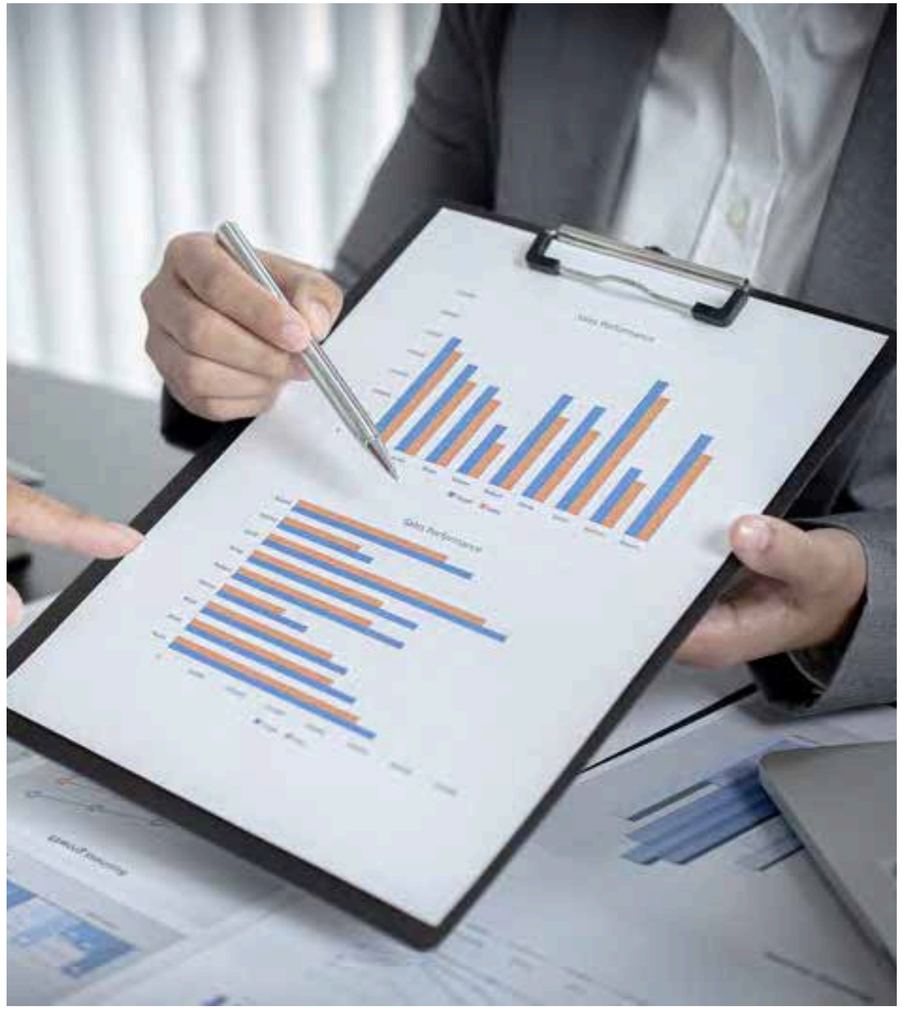
資本配分

- 年間80円の配当予想は据え置き
- 継続的にM&AおよびCVC案件の検討を実施

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

AGENDA

01　FY2026 第2四半期業績
02　FY2026 業績予想
03　FY2026 事業戦略の進捗
04　株主還元
05　会社概要



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（PL概況①）

第2四半期業績予想に対して概ね計画通りの進捗。２桁増収・２桁営業増益を達成。

- 業績予想に対して売上高および経常利益は若干の未達となったものの、収益率向上により営業利益・当期純利益は達成

単位：百万円 ( )内：マイナス	FY2025 4-9月 実績	FY2026 4-9月			FY2026　予想比較　(2026年5月14日発表)			
		実績	前年同期比	前期差	上期		通期	
					業績予想	進捗率	業績予想	進捗率
売上高	9,222	**10,276**	11.4%	1,054	**10,800**	95.2%	**28,000**	36.7%
営業利益	1,156	**1,454**	25.8%	298	**1,400**	103.9%	**4,800**	30.3%
経常利益	1,254	**1,350**	7.7%	96	**1,450**	93.2%	**4,900**	27.6%
親会社株主に帰属する **当期純利益**	988	**1,073**	8.6%	85	**1,000**	107.3%	**3,400**	31.6%
受注高	9,963	**12,408**	24.5%	2,444	-	-	**29,500**	42.1%
受注残高	17,036	**19,643**	15.3%	2,607	-	-	**19,812**	99.2%

※計画値非開示

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（PL概況②）

単位：百万円 ( )内：マイナス	FY2025 4-9月	FY2026 4-9月		
	実績	実績	前年同期比	前期差
売上高	9,222	**10,276**	11.4%	1,054
売上総利益	3,403	**3,912**	15.0%	509
販管費	2,246	**2,457**	9.4%	(*1) 211
営業利益	1,156	**1,454**	25.8%	298
営業外収益	104	**91**	(12.7%)	(13)
営業外費用	6	**195**	2,854%	(*2) 188
経常利益	1,254	**1,350**	7.7%	96
親会社株主に帰属する当期純利益	988	**1,073**	8.6%	85

■　ポイント

(*1) 販管費 211百万円増加
（うち、人件費　165百万円増加）

(*2) 営業外費用 188百万円増加
（うち、持分法投資損失　183百万円増加）

指標	FY2025 4-9月	**FY2026 4-9月**	**前期差**
売上総利益率	36.9%	**38.1%**	+1.2pt
販管費率	24.4%	**23.9%**	(*3) (0.4pt)
営業利益率	12.5%	**14.2%**	(*4) +1.6pt

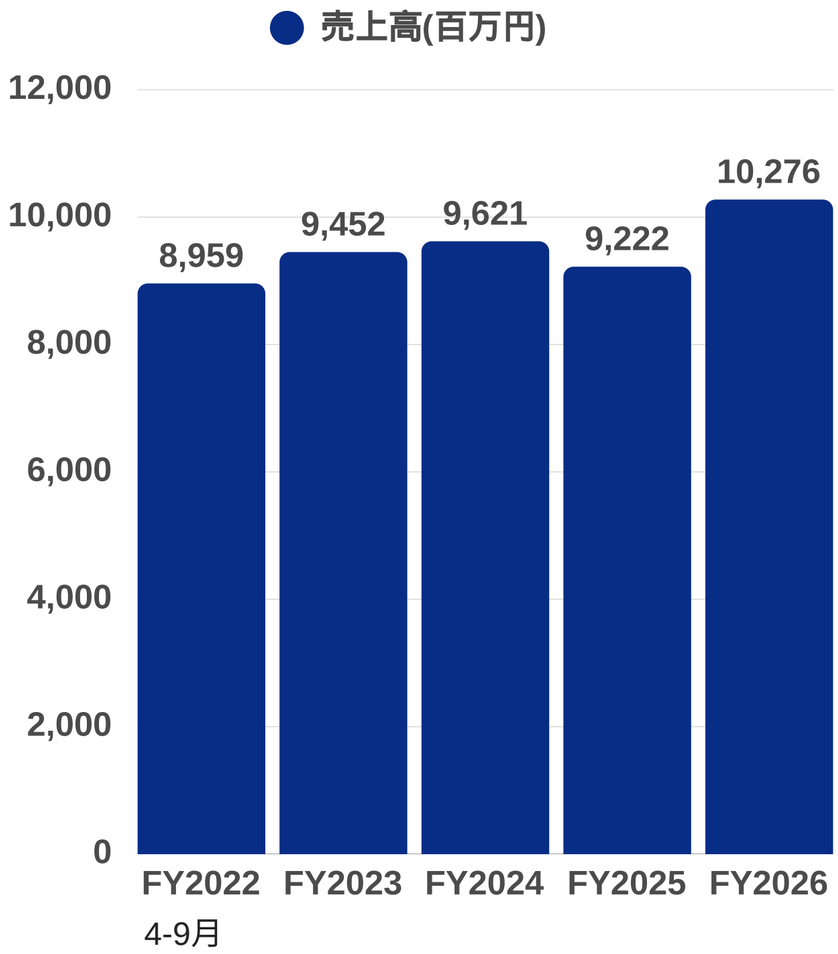
(*3) 人件費増を増収で吸収し、販管費率低下

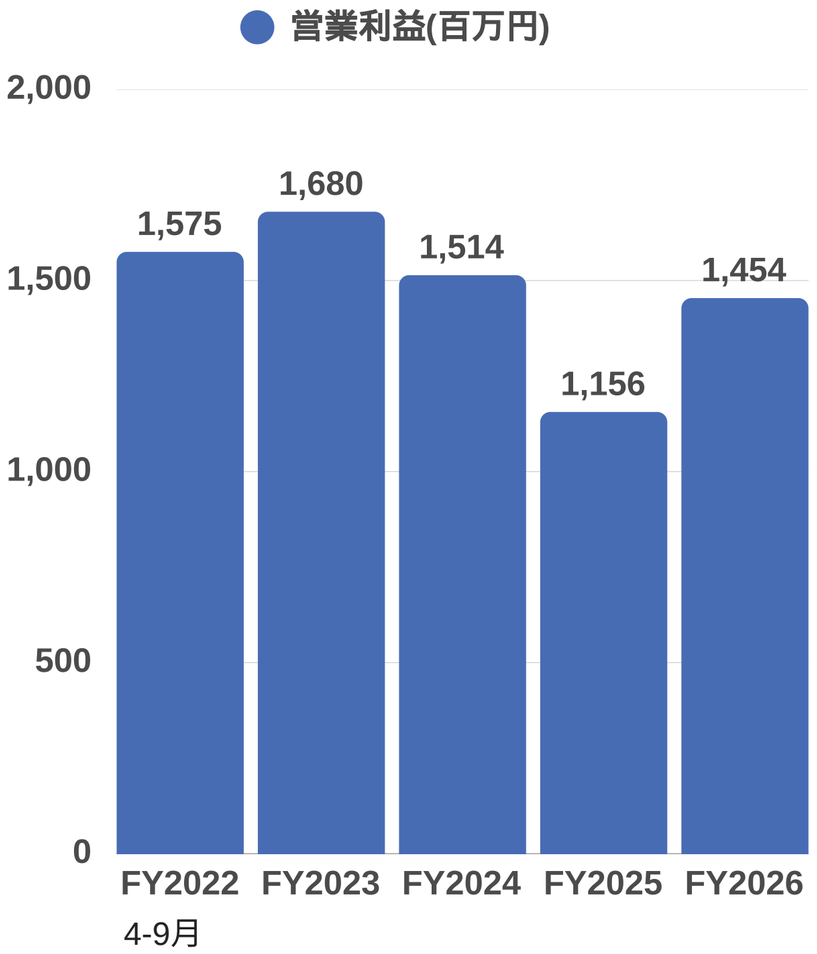
(*4) 売上総利益率、販管費率ともに改善し、
営業利益率は＋1.6pt上昇

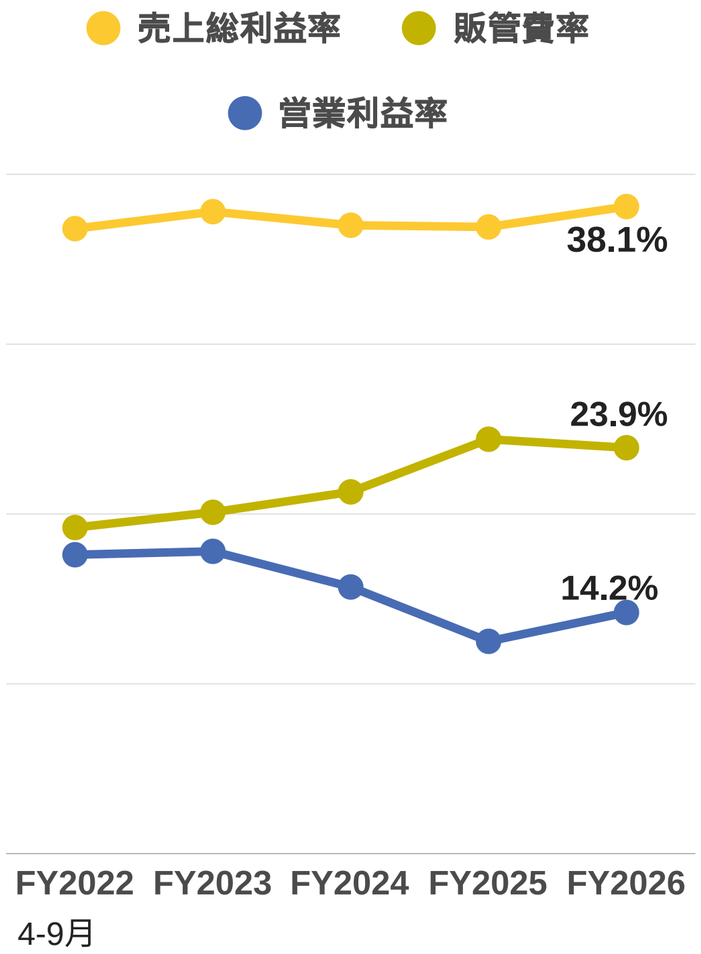
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（過年度推移）

前年同期の落ち込みから反転し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る底堅いトレンド







© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（事業別売上概況）

単位：百万円 ( )内：マイナス	FY2025 4-9月	FY2026　4-9月 実績	 前期差	事業内容、トピック
フィナンシャルシステム	2,163	**2,610**	**447**	ニッチトップソリューション。全国の地方銀行におけるパッケージ導入シェア約70%
公共システム	463	**422**	**(41)**	地方自治体の滞納管理・学務支援パッケージ提供。システム標準化法制化に伴い潜在需要旺盛
流通ECシステム	245	**187**	**(57)**	小売業の販売管理・顧客管理などの基幹システム、ECサイト構築等のソリューション提供
CTIシステム	615	**345**	**(269)**	金融機関をはじめとする幅広い業界に向けたコンタクトセンター関連ソリューション等提供
通信システム	444	**308**	**(136)**	クラウド基盤、社会インフラ更新、ネットワークセキュリティシステム等提供
決済システム	610	**667**	**57**	自社開発のマルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」等提供
その他（主に子会社）　※	79	**805**	**725**	※従来は、工事進行基準を適用していた各事業の売上高を「その他」に計上しておりました。FY2026 第2四半期より、計上対象を主に子会社のシステム開発・販売事業等のみに変更いたします。次ページに前期の遡及適用数値を記載。
システム開発・販売合計	4,623	**5,348**	**725**	–
BPO	1,809	**1,954**	**145**	自治体の税金・保険料催告業務等の実業務請負サービス等提供
保守・利用料	2,789	**2,973**	**183**	上記「システム開発・販売」各事業における案件の保守等提供
リカーリング合計	4,599	**4,927**	**328**	–
連結売上高合計	9,222	**10,276**	**1,054**	–

※ FY2026 第2四半期より計上内容を変更。次ページに前期遡及数値を記載

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（事業別半期売上概況）

※従来は、工事進行基準を適用していた各事業の売上高を「その他」に含めて計上。FY2026 第2四半期より、計上対象を主に子会社のシステム開発・販売事業等のみに変更

単位：百万円	FY2024				FY2025				FY2026		
	上期	下期		通期	上期	下期		通期	上期		通期
	4-9月実績	10-3月実績	下期構成比	4-3月実績	4-9月実績	10-3月実績	下期構成比	4-3月実績	4-9月実績	進捗率	4-3月計画
フィナンシャルシステム	2,121	3,259	60.6%	5,381	2,163	3,213	59.8%	5,376	**2,610**		
公共システム	201	450	69.0%	652	463	1,584	77.4%	2,048	**422**		
流通ECシステム	411	467	53.2%	879	245	430	63.7%	675	**187**		
CTIシステム	547	443	44.8%	991	615	756	55.2%	1,372	**345**	—	—
通信システム	587	631	51.8%	1,218	444	773	63.5%	1,218	**308**		
決済システム	1,122	659	37.0%	1,782	610	946	60.8%	1,556	**667**		
その他（主に子会社）　※	181	438	70.7%	1,423	79	1,343	94.4%	1,423	**805**		
システム開発・販売合計	5,137	6,350	55.1%	11,524	4,623	9,048	66.2%	13,671	**5,348**	**31.0%**	**17,245**
BPO	1,764	1,850	51.2%	3,615	1,809	1,936	51.7%	3,745	**1,954**	—	—
保守・利用料	2,683	2,729	50.4%	5,412	2,789	2,893	50.9%	5,683	**2,973**		
リカーリング合計	4,447	4,759	50.7%	9,027	4,599	4,829	51.2%	9,429	**4,927**	**45.8%**	**10,755**
連結売上高合計	9,621	10,930	53.2%	20,552	9,222	13,878	60.1%	23,101	**10,276**	**36.7%**	**28,000**

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（事業別3か月売上概況）

※従来は、工事進行基準を適用していた各事業の売上高を「その他」に含めて計上。FY2026 第2四半期より、計上対象を主に子会社のシステム開発・販売事業等のみに変更

単位：百万円	FY2024				FY2025				FY2026		
	Q1/4-6月	Q2/7-9月	Q3/10-12月	Q4/1-3月	Q1/4-6月	Q2/7-9月	Q3/10-12月	Q4/1-3月	Q1/4-6月	Q2/7-9月	前期差
フィナンシャルシステム	957	1,163	1,348	1,910	949	1,214	1,334	1,878	1,201	**1,409**	**194**
公共システム	72	129	71	378	229	234	516	1,067	181	**241**	**7**
流通ECシステム	191	219	145	322	121	124	194	235	71	**116**	**(8)**
CTIシステム	363	183	111	331	297	318	205	551	73	**272**	**(45)**
通信システム	331	255	221	410	212	232	140	633	194	**113**	**(118)**
決済システム	683	439	353	305	107	502	198	748	107	**560**	**57**
その他（主に子会社）　※	105	76	204	233	35	44	877	465	337	**468**	**424**
システム開発・販売合計	2,706	2,467	2,457	3,893	1,952	2,670	3,467	5,580	2,167	**3,181**	**510**
BPO	876	887	929	920	896	913	955	980	973	**980**	**67**
保守・利用料	1,338	1,345	1,355	1,373	1,386	1,403	1,433	1,459	1,483	**1,490**	**86**
リカーリング合計	2,214	2,233	2,285	2,294	2,282	2,316	2,389	2,440	2,456	**2,471**	**154**
連結売上高合計	4,920	4,700	4,742	6,187	4,235	4,987	5,856	8,021	4,624	**5,652**	**665**

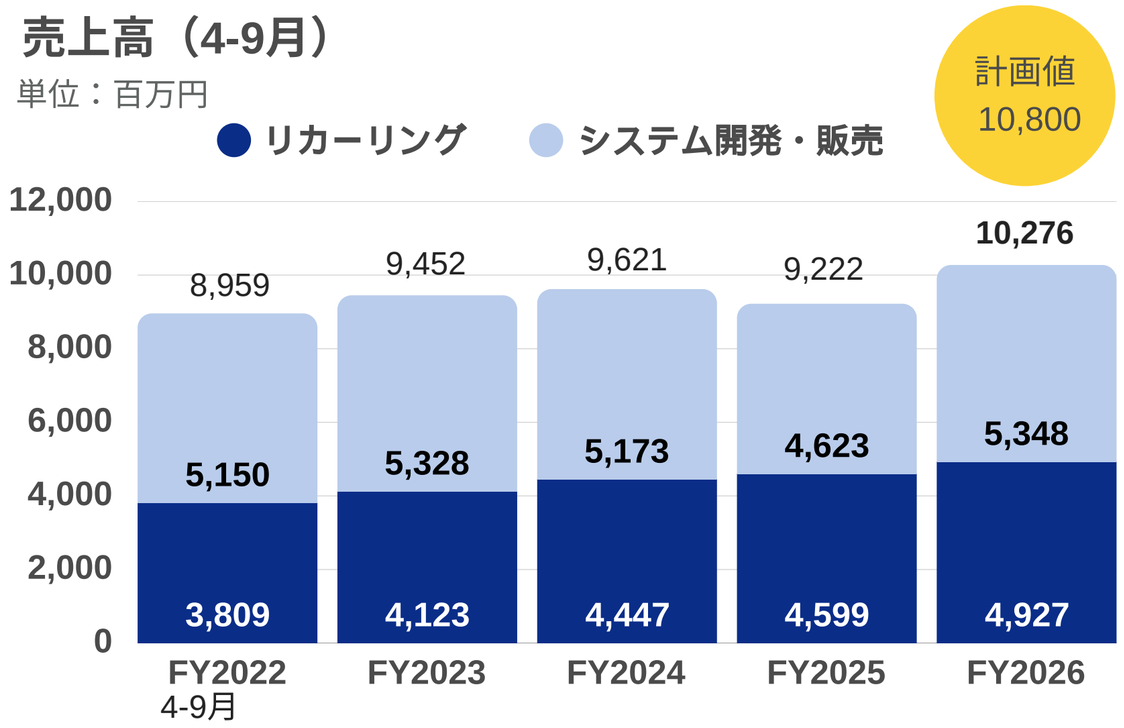
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（セグメント概況）

売上高・セグメント利益は、第2四半期として、ほぼ計画通りの進捗

売上高（4-9月）

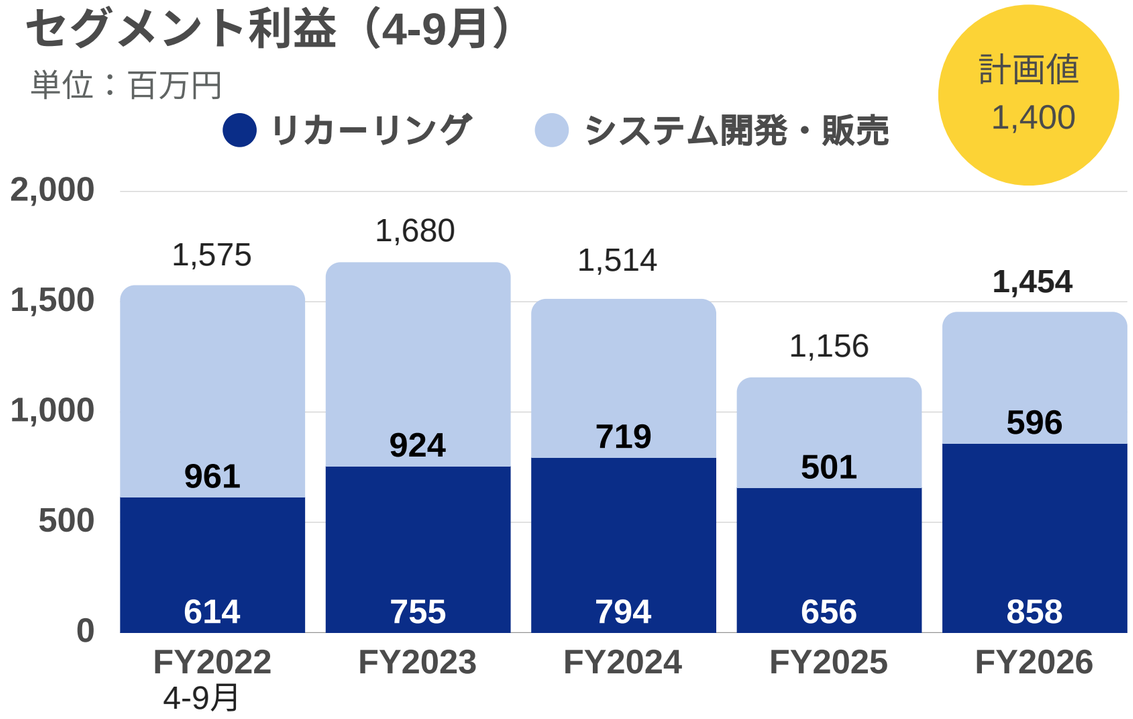
単位：百万円



リカーリング構成比				
42.5%	43.6%	46.2%	49.9%	48.0%

セグメント利益（4-9月）

単位：百万円



リカーリング構成比				
39.0%	45.0%	52.5%	56.7%	59.0%

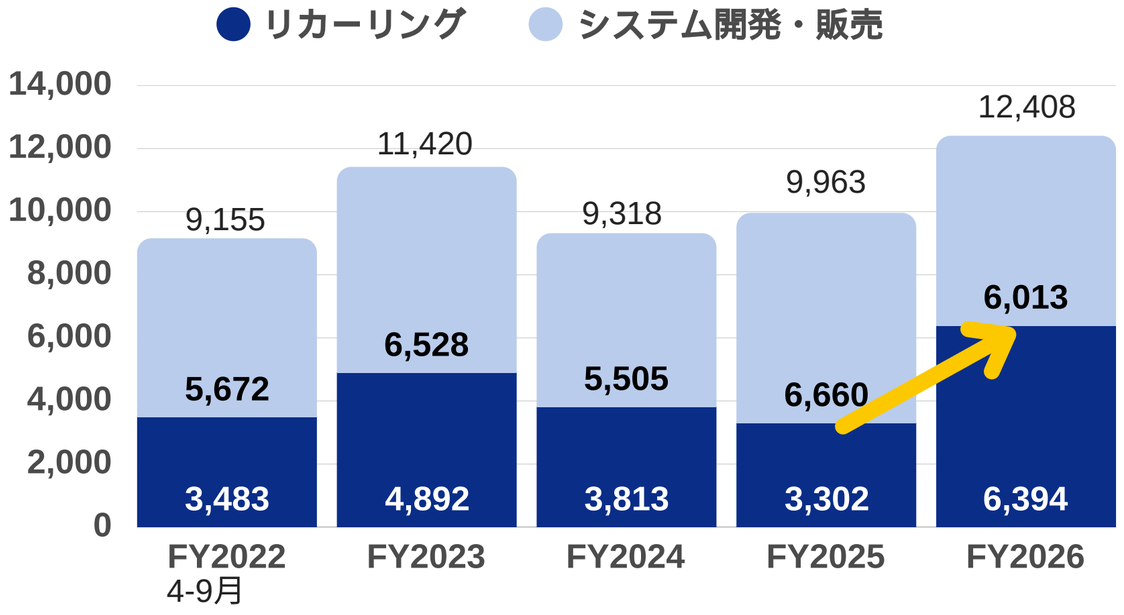
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（受注概況）

BPOを中心にリカーリングの受注が牽引し、過去最高の受注高・受注残高を更新

受注高（4-9月）

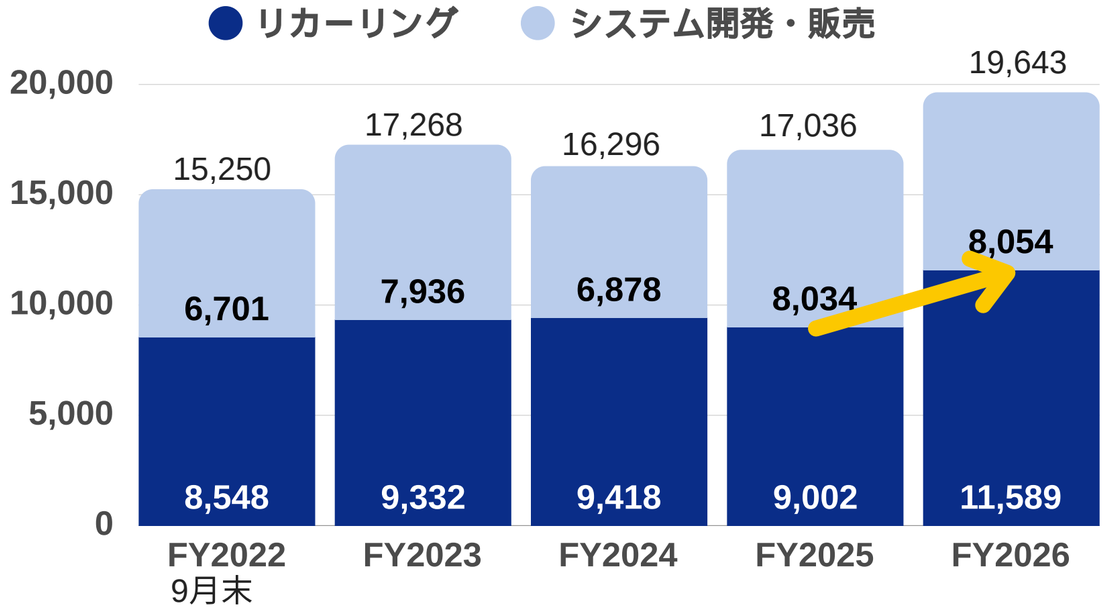
単位：百万円



リカーリング構成比				
38.0%	42.8%	40.9%	33.2%	51.5%

9月末受注残高

単位：百万円



リカーリング構成比				
56.1%	54.0%	57.8%	52.8%	59.0%

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（BS①）

単位：百万円 ( )内：マイナス	2025年 9月末	2026年 3月末	2026年9月末		
	実績	実績	実績	前年同期差	前期末差
現預金	5,982	7,808	**6,211**	**229**	**(1,596)**
売掛金等	3,700	6,410	**4,215**	**514**	**(2,195)**
有価証券　※１	7,092	5,094	**4,896**	**(2,196)**	**(197)**
棚卸資産　※２	570	397	**994**	**423**	**596**
その他	415	371	**784**	**369**	**413**
流動資産合計	17,763	20,081	**17,102**	**(660)**	**(2,978)**
有形固定資産　※３	1,106	1,065	**1,669**	**563**	**604**
無形固定資産　※４	574	907	**1,495**	**920**	**587**
投資その他資産　※５	4,369	6,012	**7,049**	**2,679**	**1,036**
固定資産合計	6,051	7,985	**10,214**	**4,163**	**2,229**
資産合計	23,814	28,066	**27,316**	**3,502**	**(749)**

■　ポイント

※１：有価証券
コマーシャル・ペーパーなど、
満期が1年以内に到来する有価証券

※２：棚卸資産
主に決済システム事業の端末在庫、
および各種システム開発の仕掛費

※３：有形固定資産
主にオフィス内装資産、所沢自社ビル等

※４：無形固定資産
主にソフトウェア、のれん等

※５：投資その他資産
投資有価証券（2026年9月末：5,786百万円）
および敷金、繰延税金資産等

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　第2四半期業績（BS②）

単位：百万円 ( )内：マイナス	2025年 9月末	2026年 3月末	2026年9月末		
	実績	実績	実績	前年同期差	前期末差
買掛金	772	1,747	**877**	**105**	**(870)**
契約負債	872	902	**973**	**100**	**71**
その他　※1、2	2,332	3,428	**2,999**	**667**	**(428)**
流動負債合計	3,977	6,078	**4,851**	**873**	**(1,227)**
固定負債合計　※2、3	373	842	**925**	**551**	**83**
負債合計	4,351	6,920	**5,776**	**1,425**	**(1,144)**
資本金	1,124	1,124	**1,124**	**0**	**0**
資本剰余金	1,221	1,221	**1,224**	**3**	**3**
利益剰余金	17,707	18,669	**18,405**	**697**	**(264)**
自己株式	(1,538)	(1,566)	**(1,481)**	**57**	**85**
その他　※4	948	1,697	**2,267**	**1,318**	**569**
純資産合計	19,463	21,146	**21,540**	**2,077**	**394**

■　ポイント

※1：その他（流動負債）
主に未払法人税、賞与引当金、未払金など

※2：有利子負債
短期借入金：　70百万円
長期借入金：114百万円
FY2025 Q3より発生

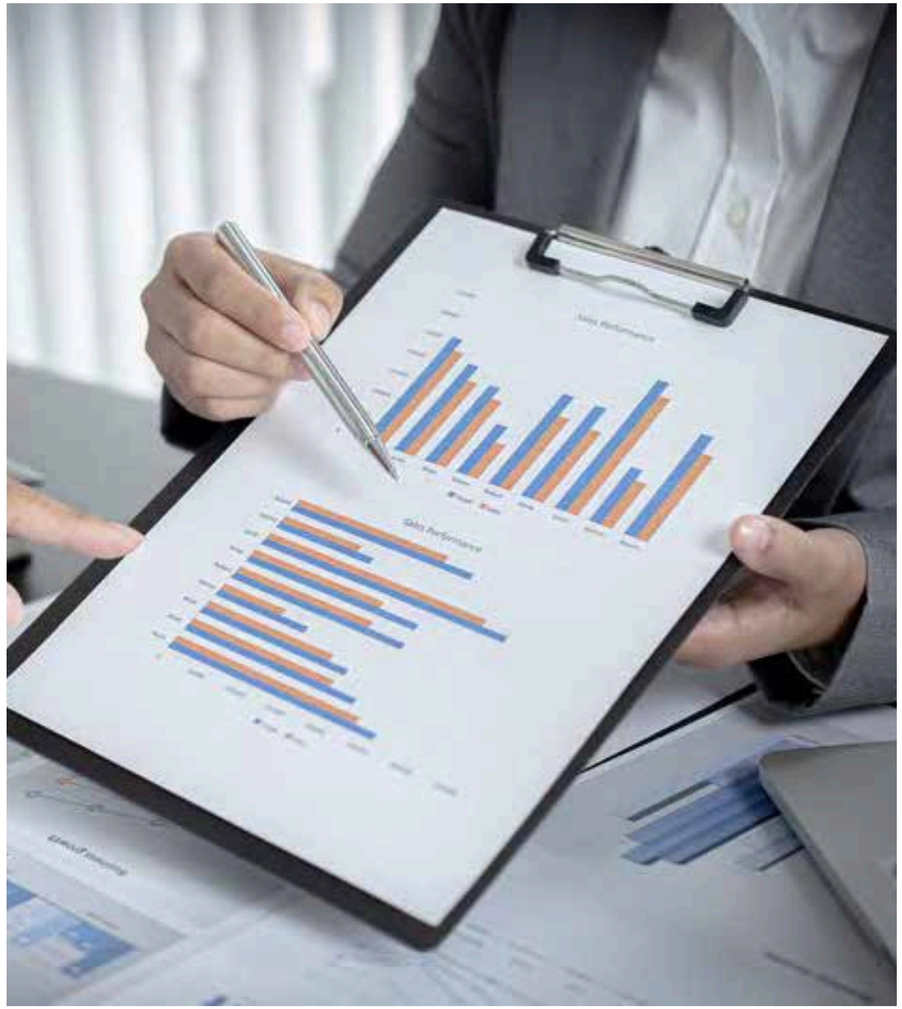
※3：固定負債（長期借入金以外）
主に退職給付に係る負債、株式給付引当金等

※4：その他（純資産）
主にその他有価証券評価差額金、
および非支配株主持分

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

AGENDA

01　FY2026 第2四半期業績
02　FY2026 業績予想
03　FY2026 事業戦略の進捗
04　株主還元
05　会社概要



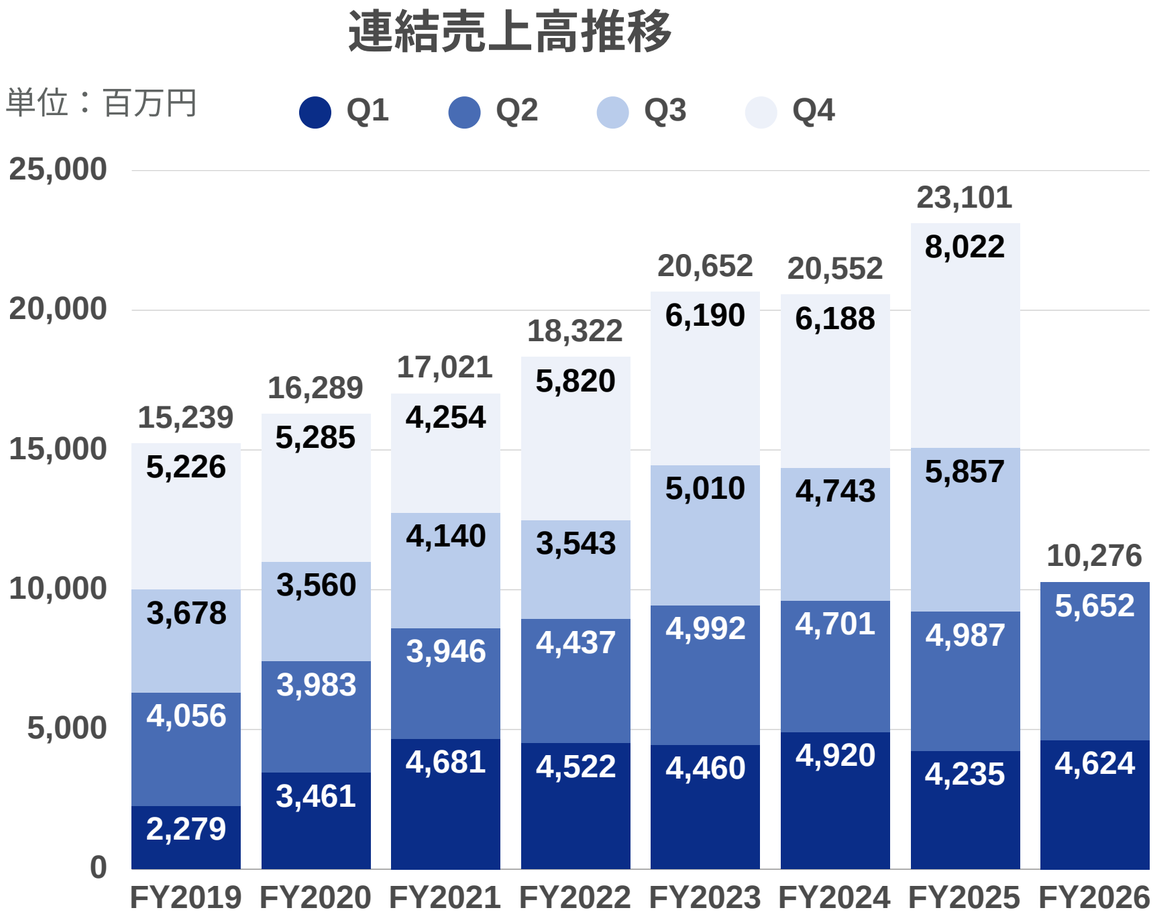
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　業績予想（連結合計）

業績予想は据え置き

- 高水準の受注残高を背景に、第4四半期にかけて売上加速する見通し

（単位：百万円）	下期		通期	
	FY2025 実績	FY2026 予想	FY2025 実績	FY2026 予想
売上高	13,878	**17,723**	23,101	**28,000**
営業利益	2,702	**3,345**	3,858	**4,800**
経常利益	2,799	**3,549**	4,054	**4,900**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,769	**2,326**	2,757	**3,400**
受注高	14,354	**16,963**	24,317	**29,500**
期末受注残高	-	**-**	17,512	**19,812**



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　業績予想（セグメント）

（単位：百万円）	FY2025 通期	FY2026 通期	
	前期実績	予想	前期比
システム開発・販売			
売上高	13,671	**17,245**	26.1%
セグメント利益	1,954	**2,437**	24.7%
受注高	15,065	**15,990**	6.1%
リカーリング			
売上高	9,429	**10,755**	14.0%
セグメント利益	1,903	**2,363**	24.1%
受注高	9,252	**13,510**	46.0%
連結合計			
売上高	23,101	**28,000**	21.2%
セグメント利益	3,858	**4,800**	24.4%
受注高	24,317	**29,500**	21.3%

■　ポイント

システム開発・販売

- 金融分野において、パッケージの更改案件の需要が継続する見込み
- 公共分野において、自治体システムの標準化移行に伴う、旺盛なシステム刷新需要が継続する見込み

リカーリング

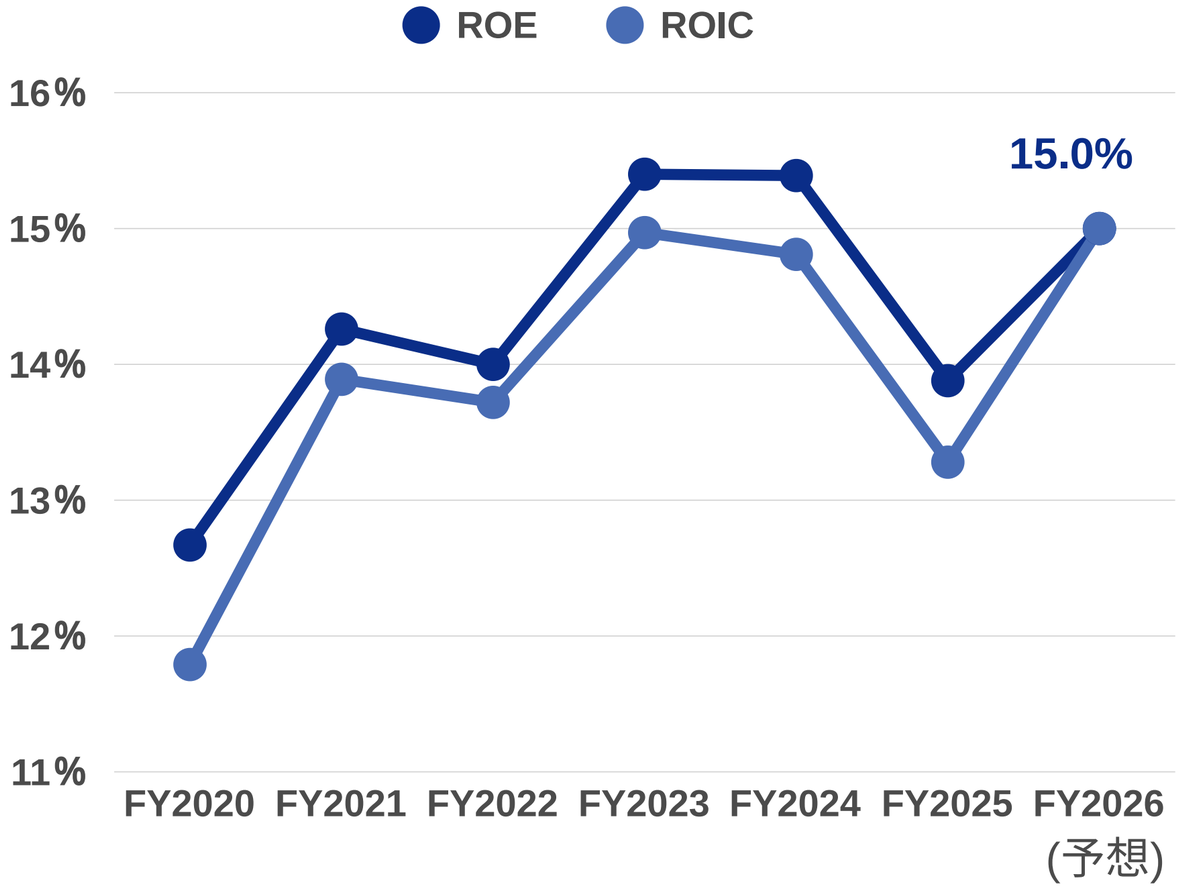
- システム開発・販売事業の成長に伴い、各事業の保守売上高も増加する見込み
- BPO業務の幅（納税・国民健康保険に加えて介護保険）を広げ、受注・売上ともに拡大する見込み

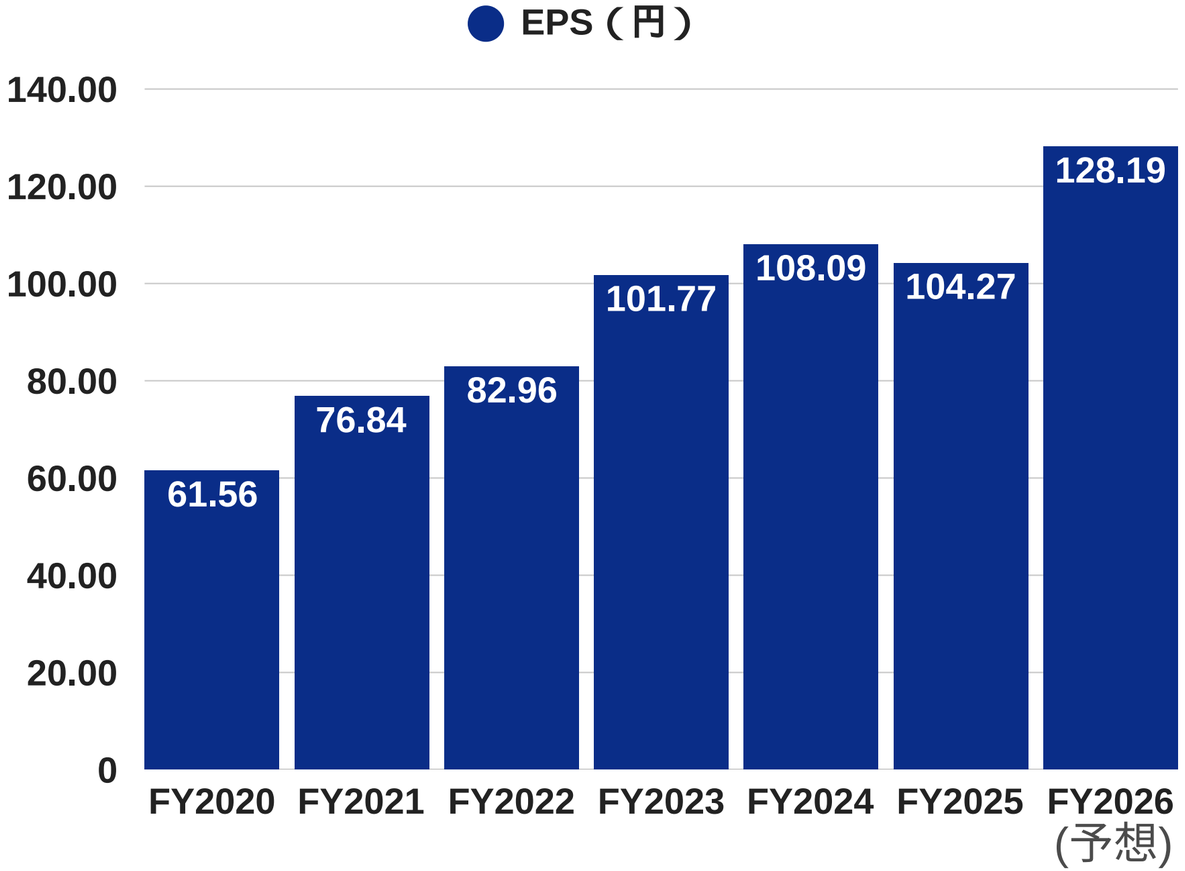
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026　業績予想（各種経営指標）

独自性のあるサービスにより、高水準の利益率を実現し、高水準のROE、ROICを継続

- 2025年度は人的資本の充実を図るため、一時的に利益率が低下したものの回復見通し

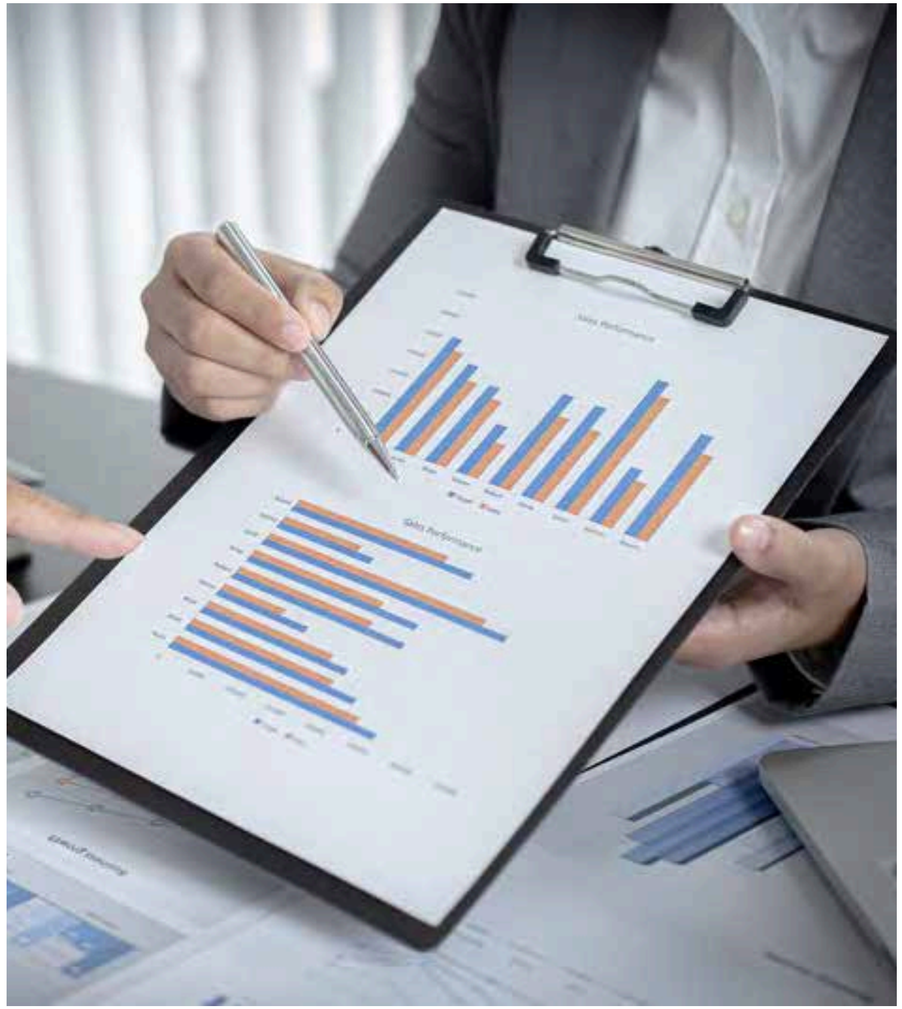




© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

AGENDA

01　FY2026 第2四半期業績
02　FY2026 業績予想
03　FY2026 事業戦略の進捗
04　株主還元
05　会社概要



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026事業戦略

３つの成長ドライバーで、非連続な成長を実現

- 既存事業、新規事業にバランスよく注力

1 既存事業の深耕と拡大

導入プロダクト増加と近接市場への拡大



2 外国人プラットフォームの構築

外国人（旅行者、就労者）に対するプラットフォームを構築



3 Growth Capital構想

対象マーケットを拡大すべく、攻めるM&Aを実現できる体制を構築



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

FY2026事業戦略

■ **FY2024– 成長に向けた基盤の整備**

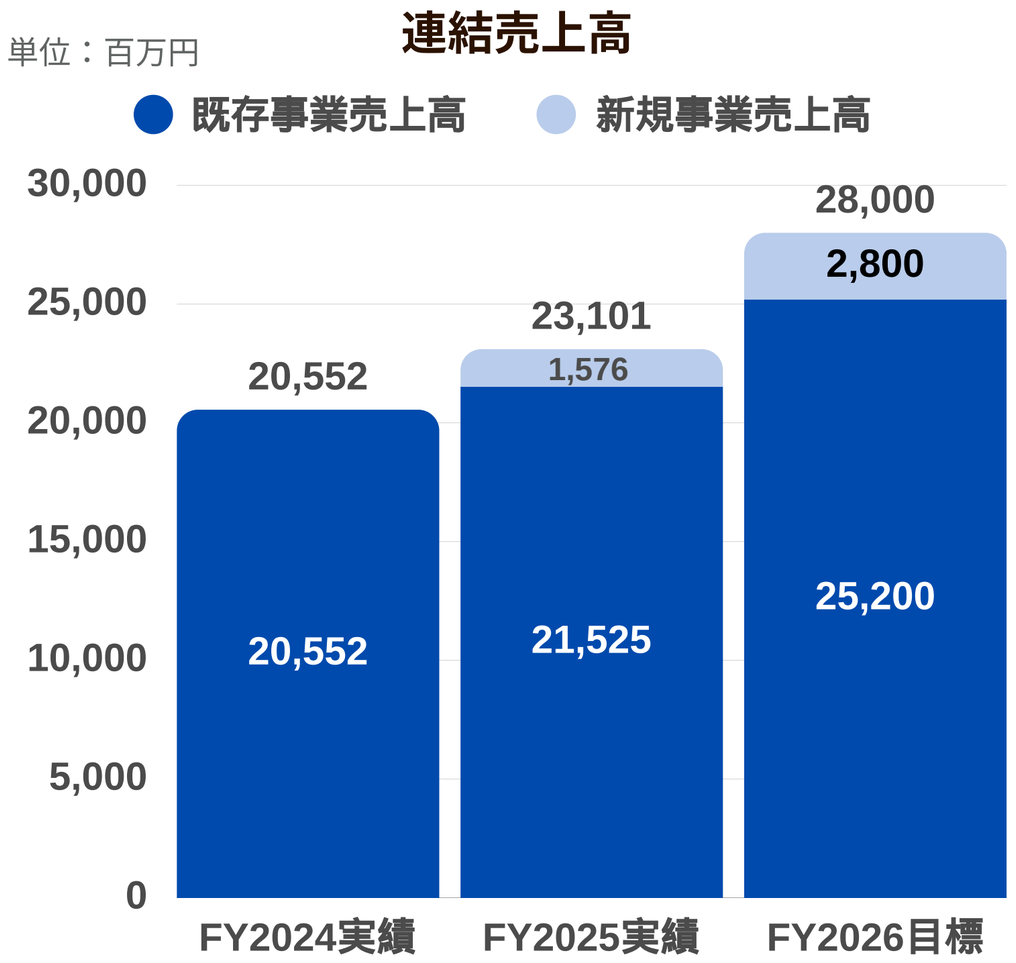
ココボイスやAgent Hub等の開発実施など新規事業の芽出し

■ **FY2025 – 成長加速に向けた助走段階**

既存事業のオーガニックな成長に加え、M&Aにより事業規模が拡大

■ **FY2026– 非連続成長への転換点**

第4次中期経営計画最終年度として
複数の成長エンジンによる、収益規模の非連続的拡大を実現



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

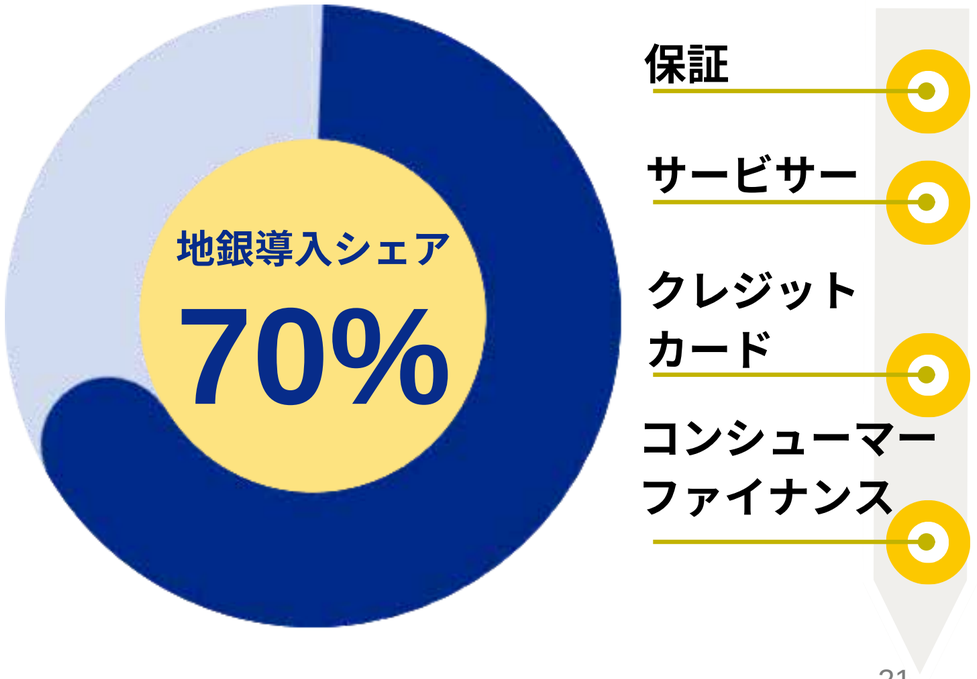
事業戦略の進捗　1 既存事業の深耕と拡大　フィナンシャルシステム事業

地方銀行における高い市場シェアを維持した上で、系列会社へ市場拡大が進行

- 高水準の受注残を背景に、下期にかけて売上高加速の見通し

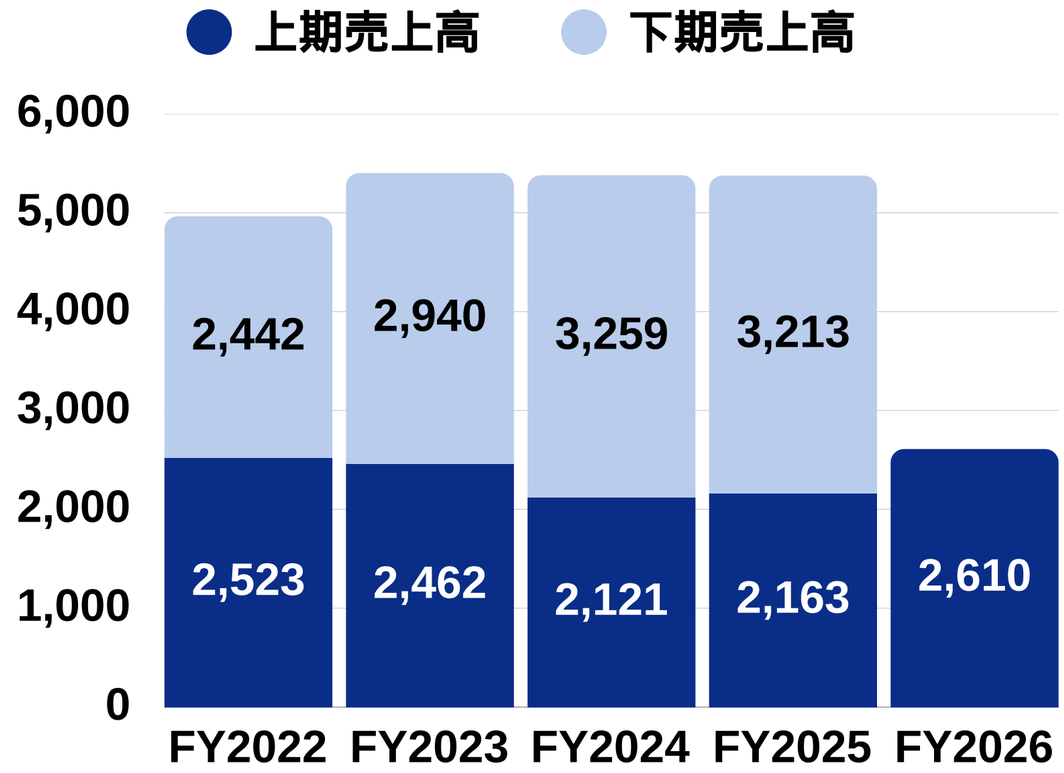


全国の地方銀行における
審査・延滞管理パッケージシステム導入シェアを
波状的に拡大



フィナンシャルシステム事業売上高
(システム開発・販売)

単位：百万円



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

「LoanEX（ローンエックス）」の開発コンセプト公開（2026/7/17）

- 全国の地方銀行における高い導入シェアを誇る、「審査パッケージシステム」の次世代パッケージ



【コンセプト】

一連の業務プロセスを包括的にカバー

次世代パッケージシステム

WEB受付　審査　申込　契約　実行後管理

UI・UX（ユーザーインターフェース／ユーザーエクスペリエンス）を改善



将来的なAI技術の発展を視野に入れたシステムアーキテクチャを採用

【期待される効果】

- 熟練度を問わず、誰もが正確かつ迅速に処理を行える、業務環境を提供
- 将来的には、職員の手作業や目視確認業務を低減し、事務ナビゲーションを自律的に行う「AIエージェント機能」の実装（構想）を見据える
- 時代とともに進化し続けるローンプラットフォームを目指す

2026年12月に開発完了見込

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　1 既存事業の深耕と拡大　公共システム事業・BPO事業

国策による自治体システムの標準化の流れが追い風となり受注拡大

- 市場拡大、競合他社に対する競争優位性によりシステム受注余力十分。自治体の人員不足によりBPOの拡大も見込める



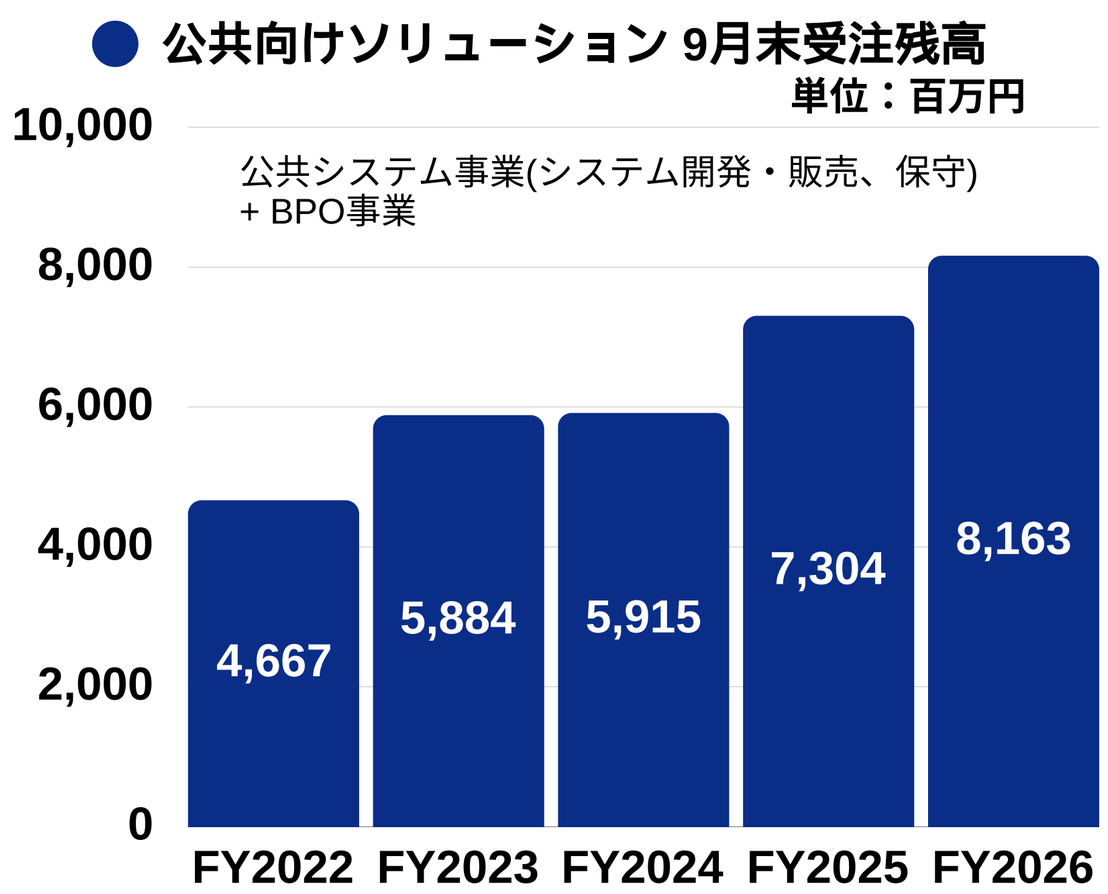
自治体システム市場の拡張可能性

従来　全国約1,800の自治体において、個別にカスタマイズ・運用されてきた基幹業務システム

変化　住民生活に直結する「基幹20業務」を国が指定する標準仕様に統一

競争環境　自治体システム標準化への対応が困難な競合他社では撤退の動きも見られる

潜在市場　原則2025年まで（対応できない自治体は2030年まで移行期間）



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

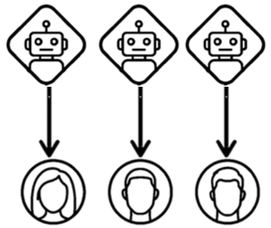
コンタクトセンター向けAIエージェントプラットフォーム「NiCE Cognigy」を展開

- 従来のAIチャットボットの限界を超えた自律的な「思考・行動」型アプローチでコンタクトセンターの人手不足解消



【製品の特長】

人間のような自然な対話と「意図」の理解



会話だけで終わらない自律的な裏方処理（システム連携）



既存の電話基盤・資産をそのまま活かせる高い統合性



【期待される効果】

- 24時間365日、いつでも一貫した高品質なクオリティでお客様対応が可能
- 定型業務や一次対応をAIが代替することで、オペレーターはより高度な業務に集中することが可能
- 会話データから顧客の潜在的なニーズや不満を分析し、サービス改善へ直結させることが可能

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

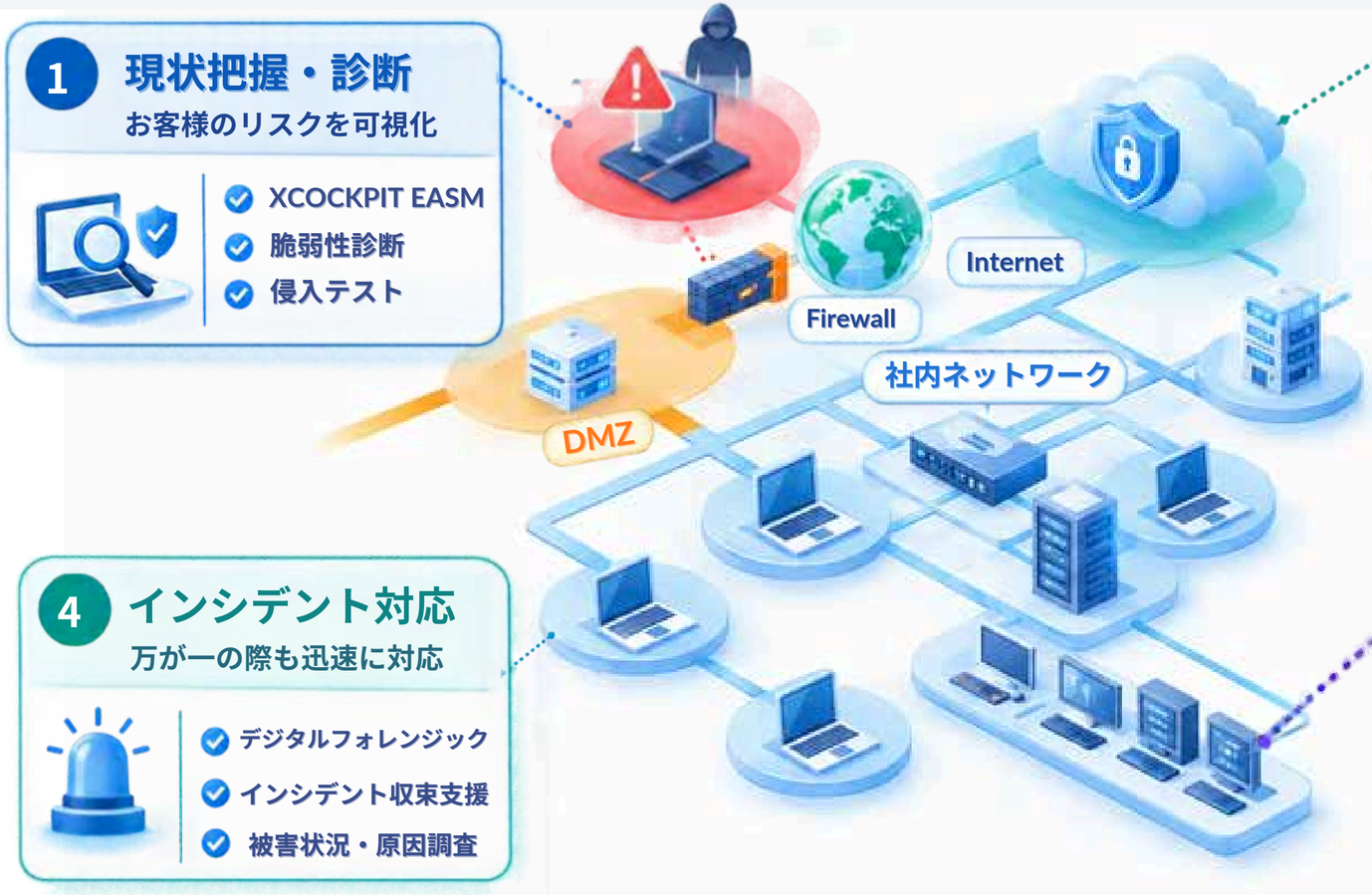
昨今激化するサイバー攻撃に対して、事前の備えから、被害対応まで対応

- 企業のセキュリティに関するあらゆる課題に対し、4つの領域を連携させたトータルサポートにより、安心・安全なビジネスの継続をサポート



1 現状把握・診断
お客様のリスクを可視化

- XCOCKPIT EASM
- 脆弱性診断
- 侵入テスト



2 AI・防御対策
多層的な防御で脅威をブロック

- VECTRA AI
- XCOCKPIT ENDPOINT
- CypherPlug
- Radware DefensePro
- クラウドセキュリティ i PaC・AWS
- LANSCOPE

3 人材・組織育成
セキュリティ意識の向上

- サイバーセキュリティアカデミー
- 経営層向けトレーニング
- 標的型攻撃メール訓練

4 インシデント対応
万が一の際も迅速に対応

- デジタルフォレンジック
- インシデント収束支援
- 被害状況・原因調査

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　1 既存事業の深耕と拡大　新規ソリューション

新たな収益機会を創出すべく、アプリ開発を推進

- プログラム開発中心の品揃えから、従量課金などの新たなプロダクトを品揃え



電子終活ノート「デジシェア」



「伝えたいこと」「遺したいこと」を記録

対話促進AIプラットフォーム「ココボイス」



社員の「本音」を集める

入金案内自動化サービス「Payコレクト」



延滞発生時の入金案内業務を自動化

債務整理業務プラットフォーム「Agent Hub」

Agent Hub

法律事務所と金融機関をつなぐSaaS型プラットフォーム

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　2 外国人プラットフォームの構築

外国人プラットフォームで日本滞在外国人の暮らしやすさを実現する

- 国策の外国人対応の取り組みに対して、ITで社会課題を解決



インバウンド旅行者

2024年

3,687万人（実績）

1.5倍

2030年

6,000万人（目標値）

※出典：2024年実績　日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（2024年12月推計値）」
および観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2030年目標　観光庁「観光立国推進基本計画」（令和5年3月閣議決定）

外国人就労者

2024年

230万人（実績）

1.6倍

2030年

356万人（見込）

※出典：2024年実績　厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和7年10月末現在）
2030年見込　JICA（国際協力機構）緒方貞子平和開発研究所 報告書
「2040年の外国人材受け入れの試算」

地域経済の課題をITで解決

インバウンド旅行者は多いにも関わらず、『地域にお金が落ちない』



増加する外国人就労者に対し、地方銀行では多言語対応や事務負荷が増大

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

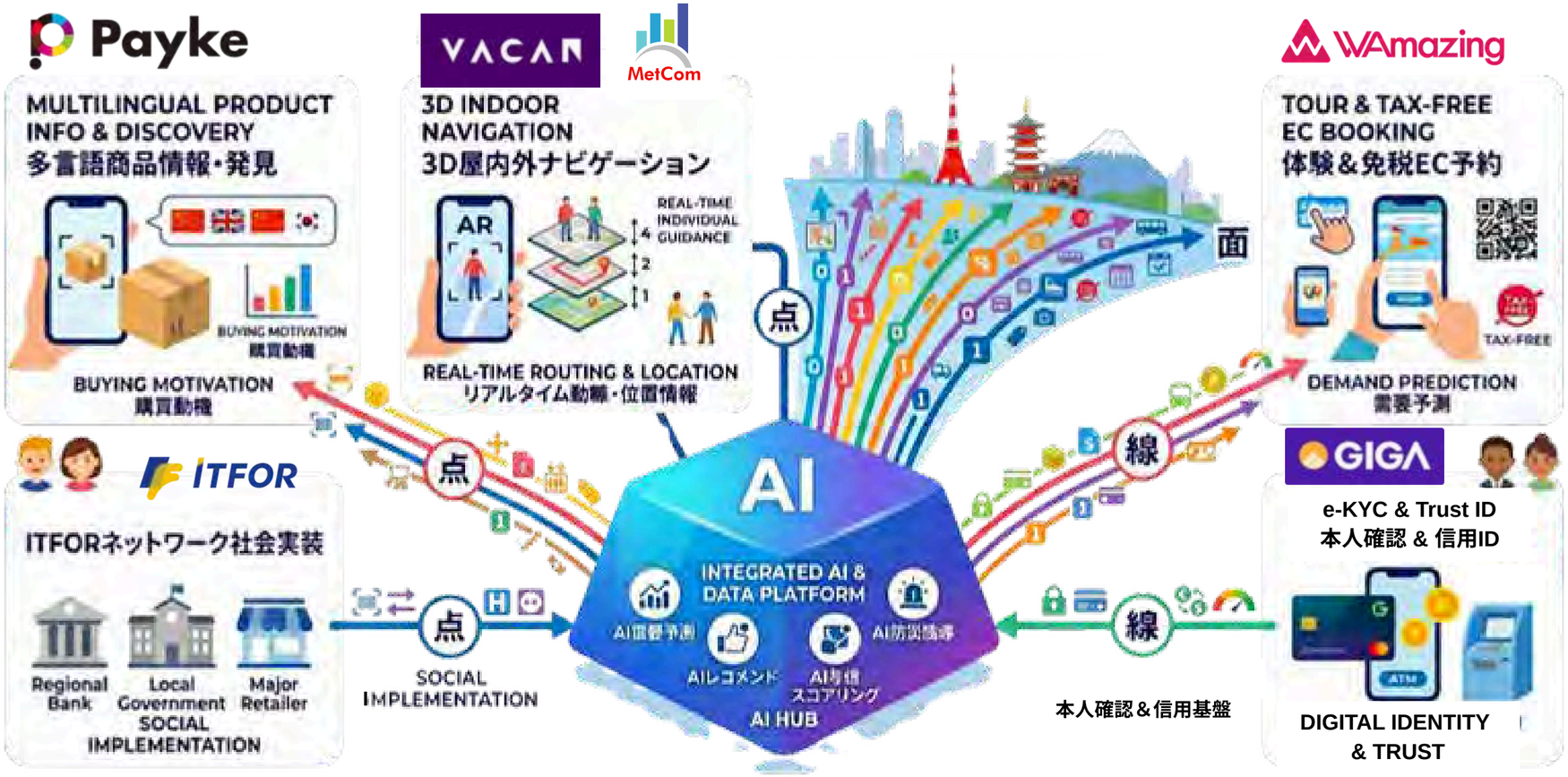
事業戦略の進捗　2 外国人プラットフォームの構築

外国人プラットフォームのAI統合

- 外国人市場における「点」データを、AIとネットワークで「面」の収益へ。「外国人プラットフォーム」を構築



コンセプトイメージ図

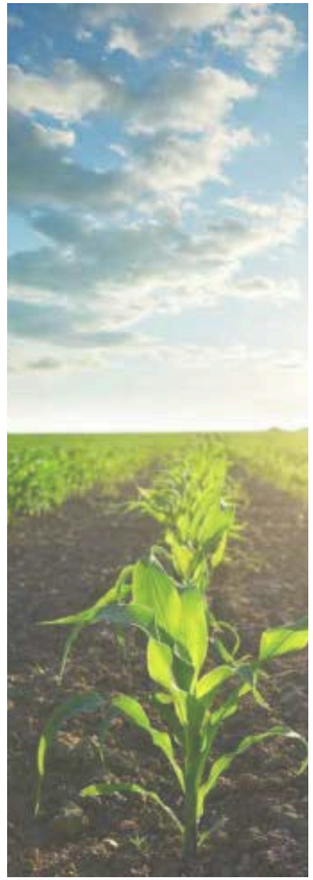


© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　3 Growth Capital構想

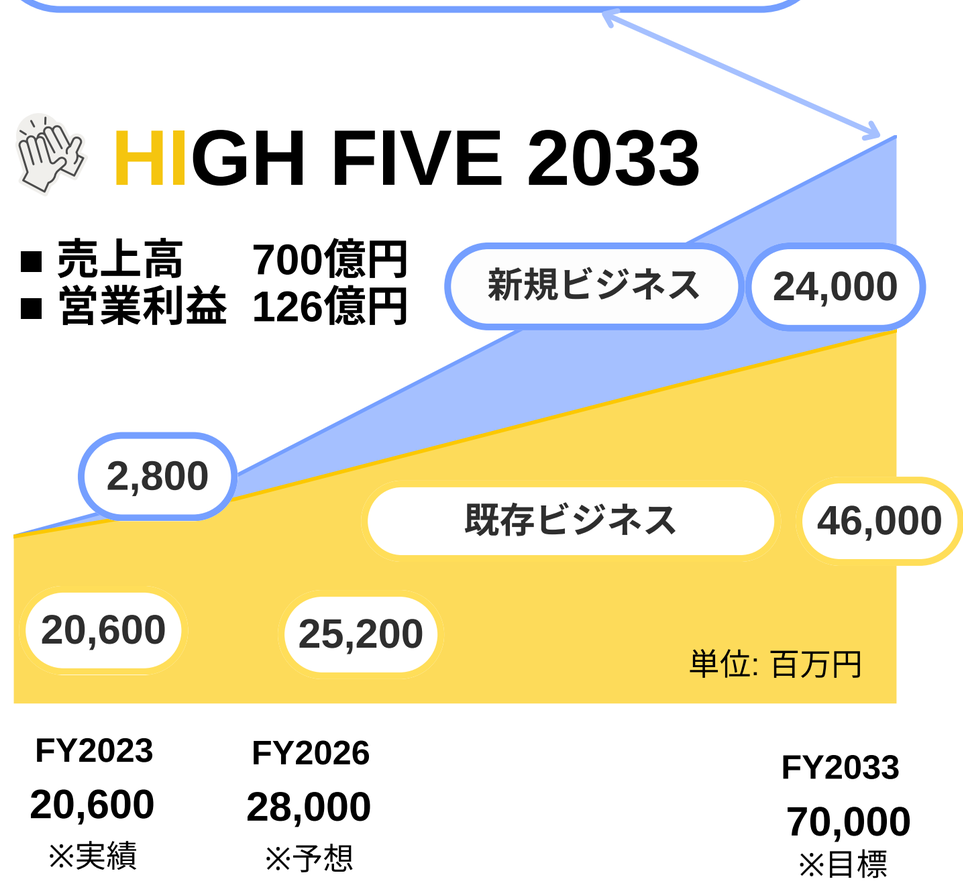
株式会社 アイティフォー・グロースキャピタル設立

- 対象マーケットを拡大すべく、攻めるM&Aを実現できる体制を構築



名称	• 株式会社アイティフォー・グロースキャピタル
所在地	• 東京都千代田区一番町21番地
設立	• 2026年7月4日
代表者	• 代表取締役社長 佐藤 恒徳 （兼：株式会社アイティフォー 代表取締役会長）
資本金	• 1億円
出資比率	• 株式会社アイティフォー 90% • ソーシング・ブラザーズ株式会社 10%
目的	• 案件ソーシングから投資実行、PMI、事業開発までを一気通貫で推進し、アイティフォーグループの持続的な企業価値向上と、新たな事業創出

新規ビジネス売上高　240億円
創出の一翼を担う

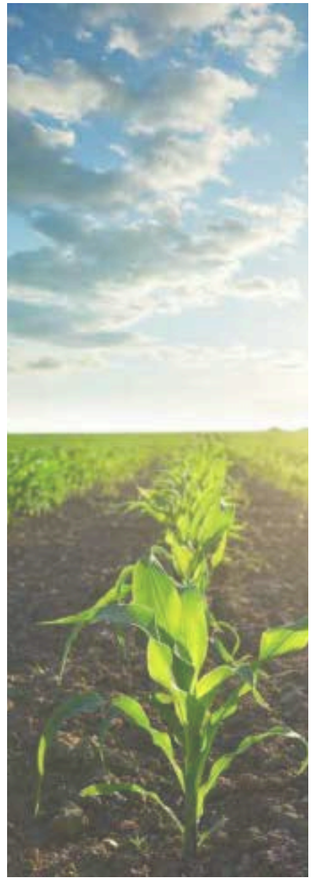


© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　3 Growth Capital構想

M&A・投資を仕組み化し、再現性のある非連続な成長を実現するための専門チームを組成

- 2033年構想「HIGH FIVE2033」売上高目標700億円達成に向けて、投資・新規事業開発に取り組む



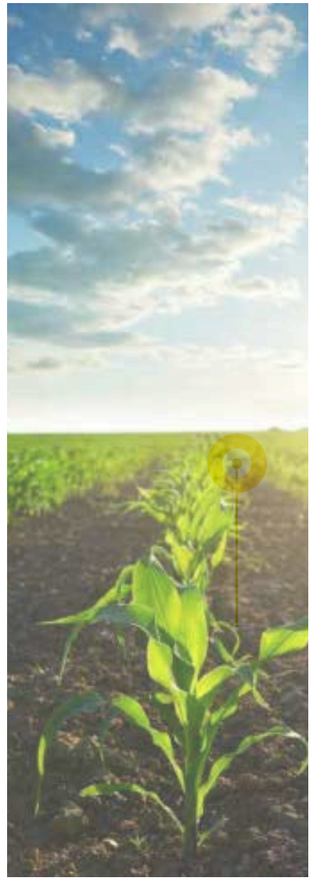


© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

事業戦略の進捗　3 Growth Capital構想

「自前主義」から「共創」へ加速

- 対象分野で独自性のある強力な技術・知見を有するパートナーと共創し、新たなシナジーを創出



VACAN

2025.02.19

バカン社へ出資

混雑状況の可視化・管理・配信など、多彩な機能を提供する混雑抑制プラットフォーム「VACAN」を展開

Payke

2025.04.02

Payke社へ出資

訪日外国人向けショッピングサポートアプリ「Payke」の開発・運営

ZenTech

2025.07.31

ZenTech社へ出資

AI技術の導入・ 運用ソリューションの提供により企業の業務変革や開発 DXを支援

AISEL

2025.10.01

アイセル社をM&A

ソフトウェア開発、DX 支援、セキュリティソリューションの分野で事業展開

MetCom

2025.11.21

MetCom社へ出資

屋内外で GPS が届かない場所でも測位可能な三次元位置情報インフラを構築

WAmazing

2026.04.01

WAmazing社へ出資

日本初のインバウンド旅行者向けオンライン免税ショッピングプラットフォーム「TFaaS（Tax-Free as a Service）」を運営

GIGA

2026.05.01

GIGABANK社へ出資

外国人就労者向けに再利用可能な金融IDと信用基盤を提供

NEXT...?

2026年度も新たな事業連携を模索中

HIGH FIVE2033の達成に向け、協業を通じて事業シナジーの最大化を図ります

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

トピック①（サステナビリティ活動）

次世代育成と地域社会の活性化を重点テーマに据え、地域とともに持続可能な成長モデルを構築

- 学生の挑戦機会の創出や地方創生支援の蓄積により、社会的価値と経済的価値の持続的な共創を目指す



全国選抜小学生プログラミング大会に協賛



全国から集まる将来のIT人財をサポートする為、当社は3年連続で当大会に協賛

中学生・高校生のアプリ・Webサービス開発コンテストに協賛



次世代を担う若手クリエーターの発掘と健全な育成を支援

テック甲子園 TECH KOSHIEN

電気通信大学の学生のベンチャーマインドを醸成するコンテストに協賛



社会問題解決、豊かな生活に向けた新たな技術・サービスアイディア創出を支援

U★PoC

立教大学体育会陸上競技部男子駅伝チームとスポンサー契約を締結



伝統を胸にタスキをつなぎ、限界へ挑戦し続ける選手たちに「寄り添い」、その飛躍を力強く後押し

「阿蘇水掛の棚田」で田植えを実施



半導体製造工場に不可欠な地下水資源保全を目的として、耕作放棄地を水田に再生する「水田湛水事業」を2年連続で支援



青森 国スポ/障スポに物品提供



スポーツを通じた地域の活性化と、誰もが参加しやすい社会づくりに貢献すべく、大会の円滑な運営を支援



「マイナビツール・ド・九州」協賛



九州地域の持続可能な未来の発展の一助となれるよう大会をサポート。4年連続シルバーパートナーとして協賛

マイナビ TOUR deKYUSHU ツール・ド・九州

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

トピック②（人的資本強化活動）

持続的成長を支える「人的資本」の拡充とES向上

- AI活用と働きやすい環境整備で、社員の能力と価値創造力を最大化



AI人財育成

開発工数削減を推進中

AI活用を促進

本質的な仕事に専念する
「時間的余白」 を創出

リスキリングを支援

技能資格取得奨励金＆対象資格を
拡充し、全社で学ぶ文化を醸成

副業を解禁

自律的なキャリア形成を後押し

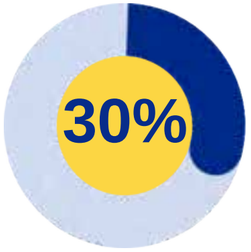
育児職場応援手当の導入

引き継ぎを受ける社員
に手当を支給

従業員持株会奨励金

自社の持株会における積立金に
30%の奨励金





ES向上

COCO VOICE

新卒入社3年後までの定着率 93%
※2026年3月末時点

3年連続での賃上げを実施

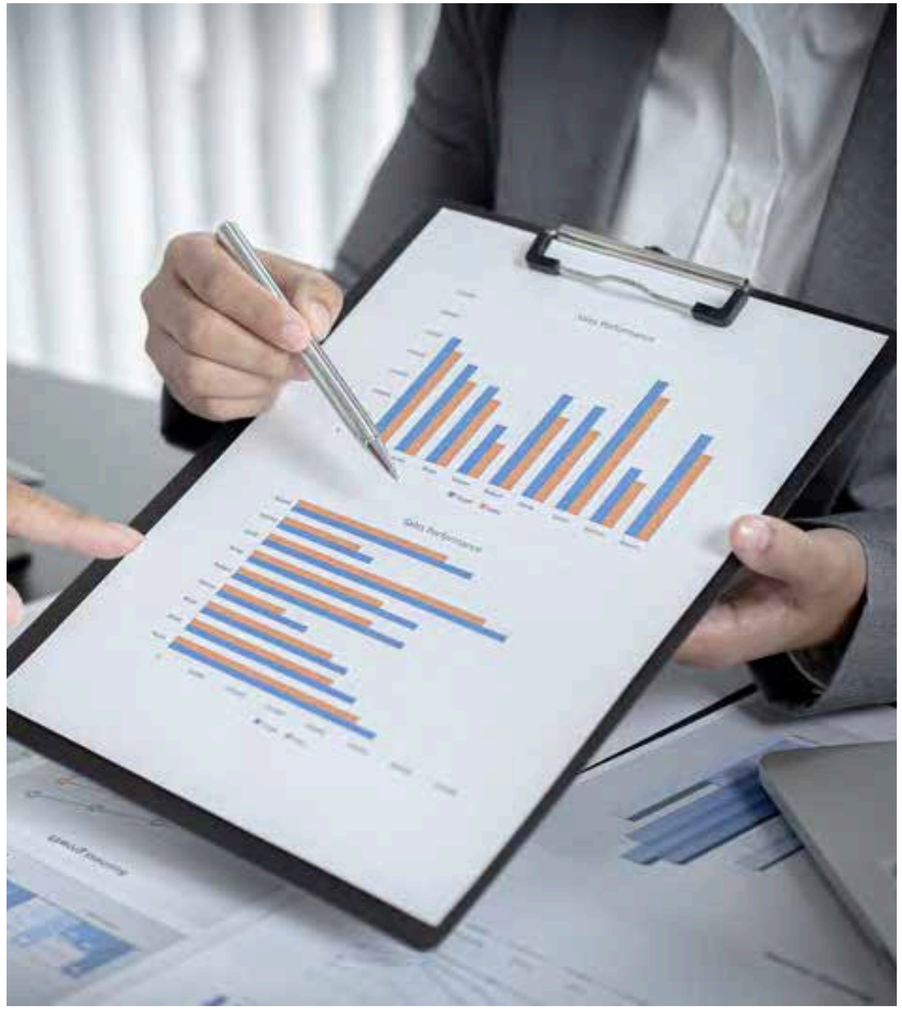
**社員の本音を集める
対話アプリ「ココボイス」を活用**



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

AGENDA

01　FY2026 第2四半期業績
02　FY2026 業績予想
03　FY2026 事業戦略の進捗
04　株主還元
05　会社概要



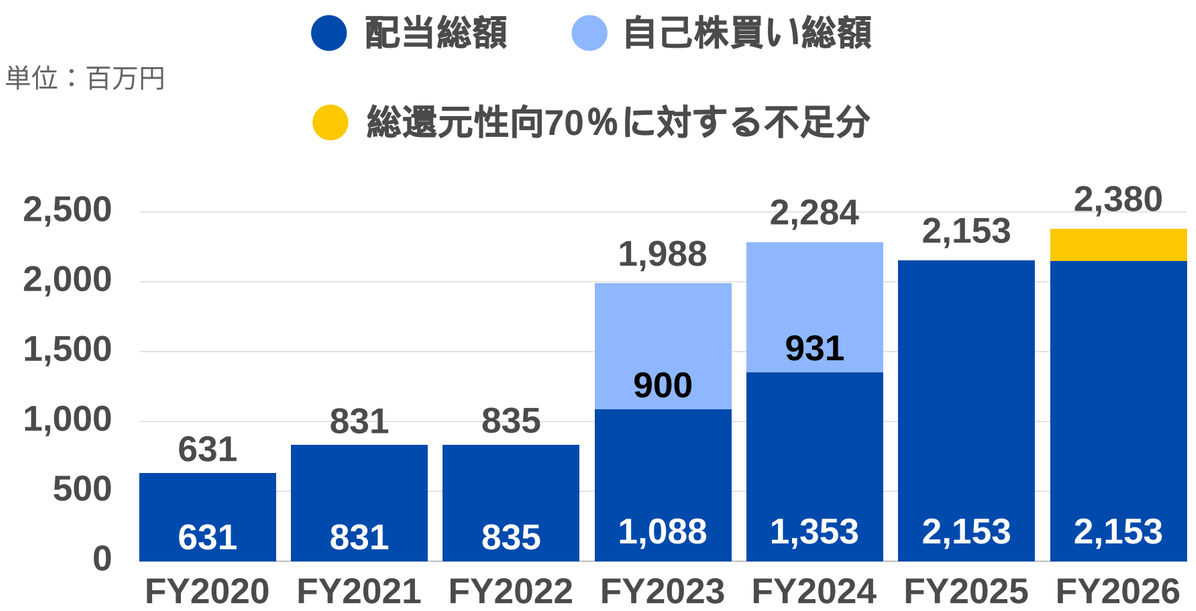
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

株主還元

株主還元の基本方針は、「配当性向50%」「累進配当」「総還元性向70%」

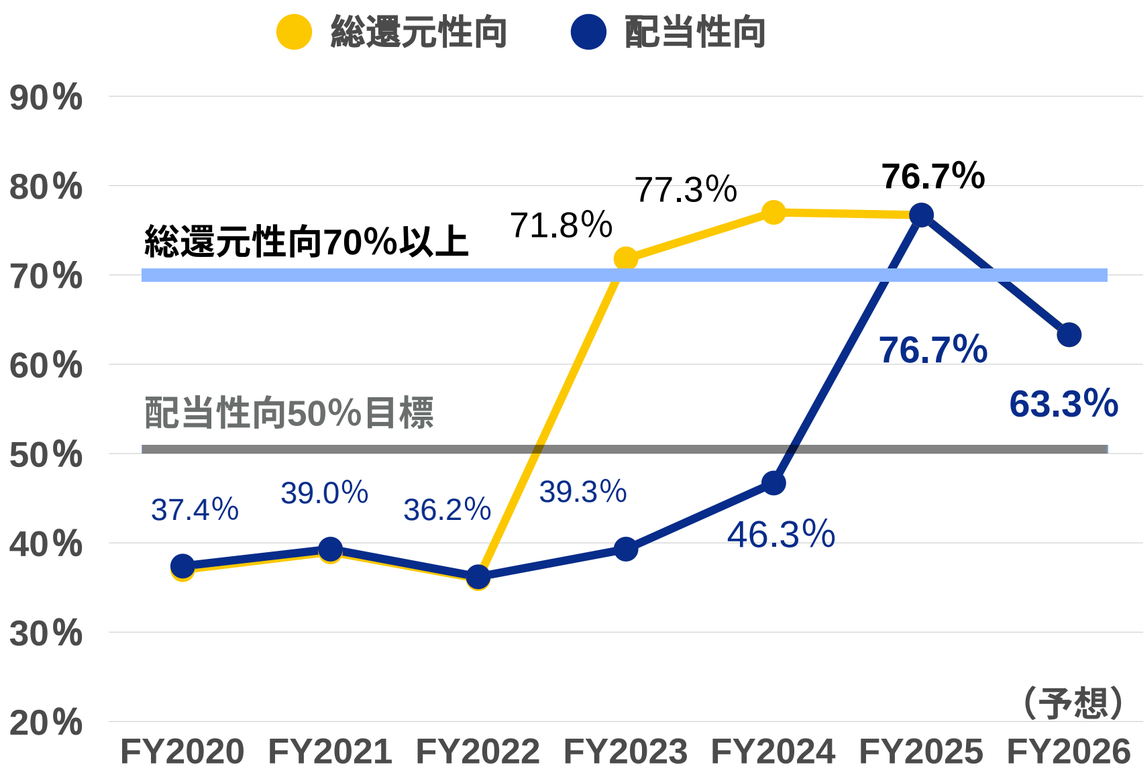
- 株主還元の水準は大幅に拡大

還元総額



1株あたり年間配当金						
23円	30円	30円	40円	50円	80円	（予想） 80円

総還元性向と配当性向



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

IR活動



2026年度計画

積極的なコミュニケーション実施

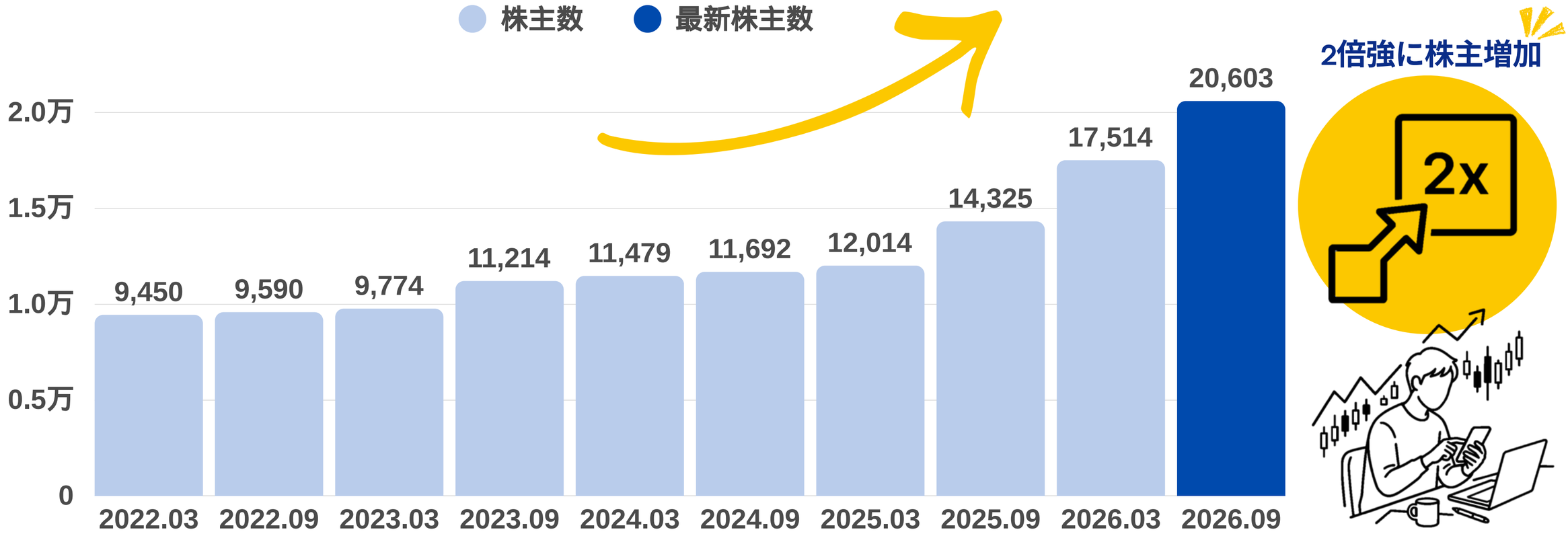
- 決算説明会：２回
- 投資家面談：60件
- 個人投資家説明会：７回
- 香港ロードショウ：９社
  （初の海外ロードショウ）
- 統合報告書2026発行
- SESSAパートナーズ株式会社による
  レポート発行

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

株主数

個人投資家説明会の開催を重ねることで、当社の認知度が高まり、株主様の人数が大きく増加

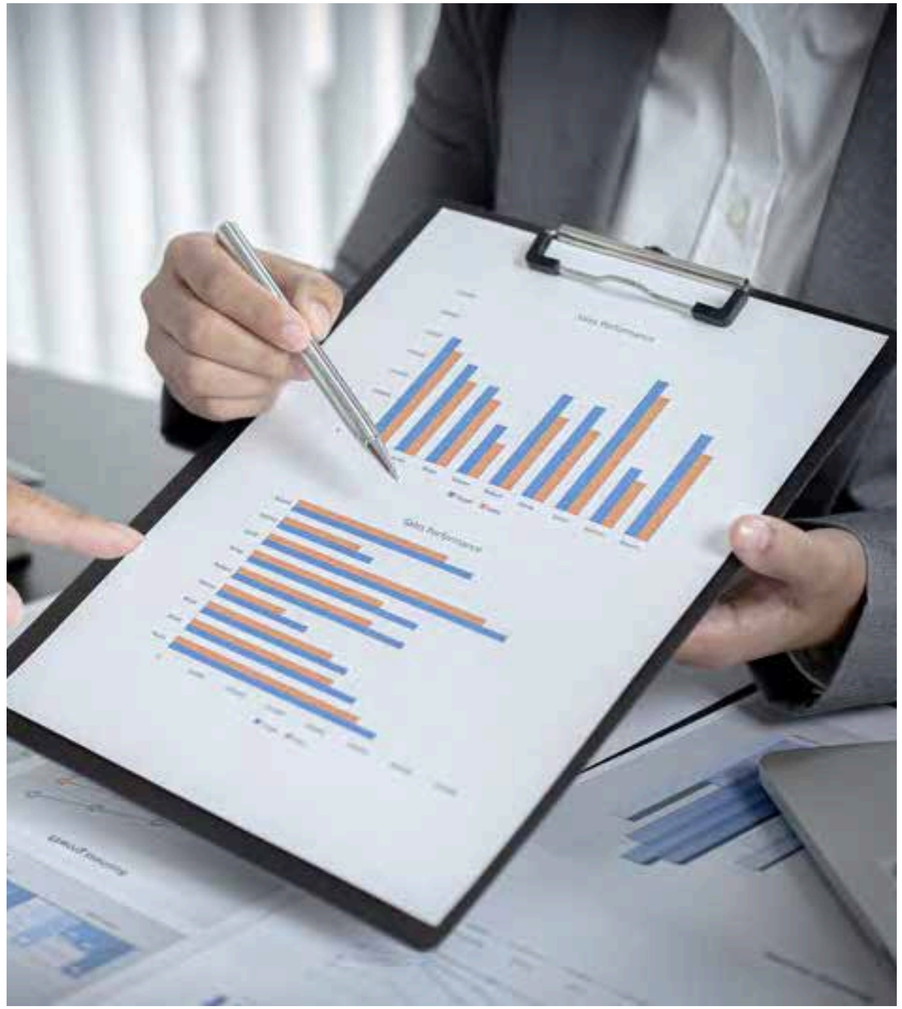
- 今後も様々な地域で継続して個人投資家説明会を開催



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

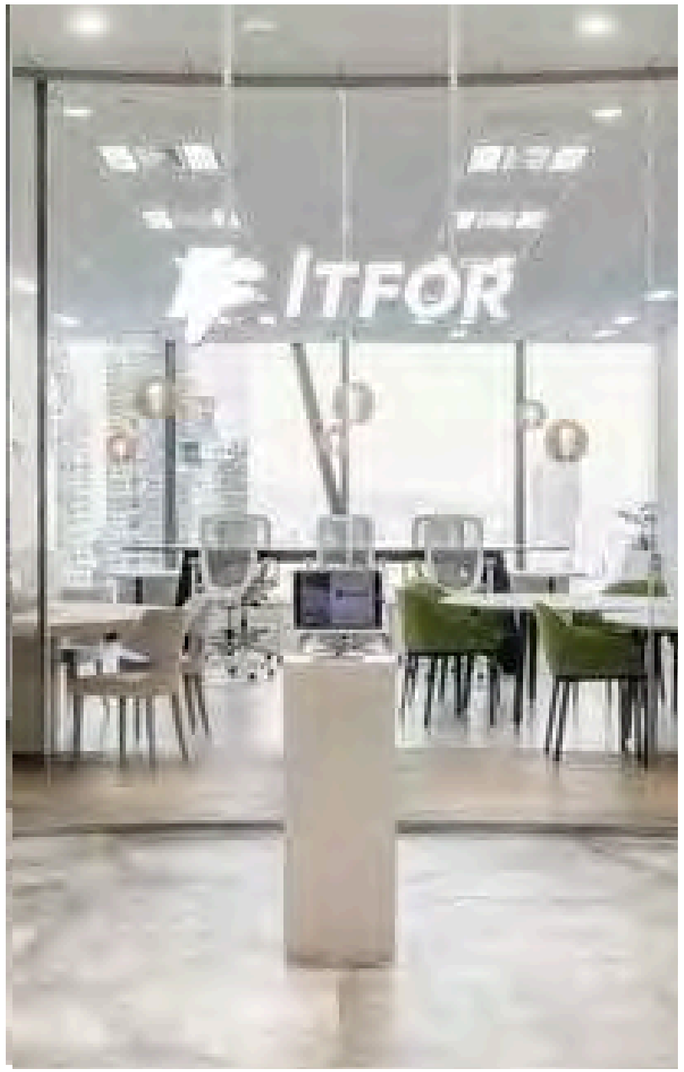
AGENDA

01　FY2026 第2四半期業績
02　FY2026 業績予想
03　FY2026 事業戦略の進捗
04　株主還元
05　会社概要



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要



詳細は当社ホームページを参照ください。

会社名	株式会社アイティフォー
創業	1972年12月2日
本社所在地	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル 受付12階
拠点	西日本事業所、中部事業所、九州事業所、沖縄営業所、所沢ビル
グループ会社	株式会社アイセル 株式会社アイティフォー・グロースキャピタル 株式会社アイティフォー・ベックス 株式会社イーブ 株式会社シー・ヴィ・シー
資本金	11億24百万円（東証プライム市場 4743）
従業員数	連結：892名（2026年3月31日現在）

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要（経営理念）



「寄り添うチカラ」で
人々の感動と笑顔を生み出す

地域社会の豊かな未来を、お客様と共に。

地域経済の活性化へ向け、お客様の想いや業務を深く理解し、取り組みを支えます。

**私たちアイティフォーは、
社員一人ひとりの「寄り添うチカラ」で
地方創生という社会貢献を実現してまいります。**

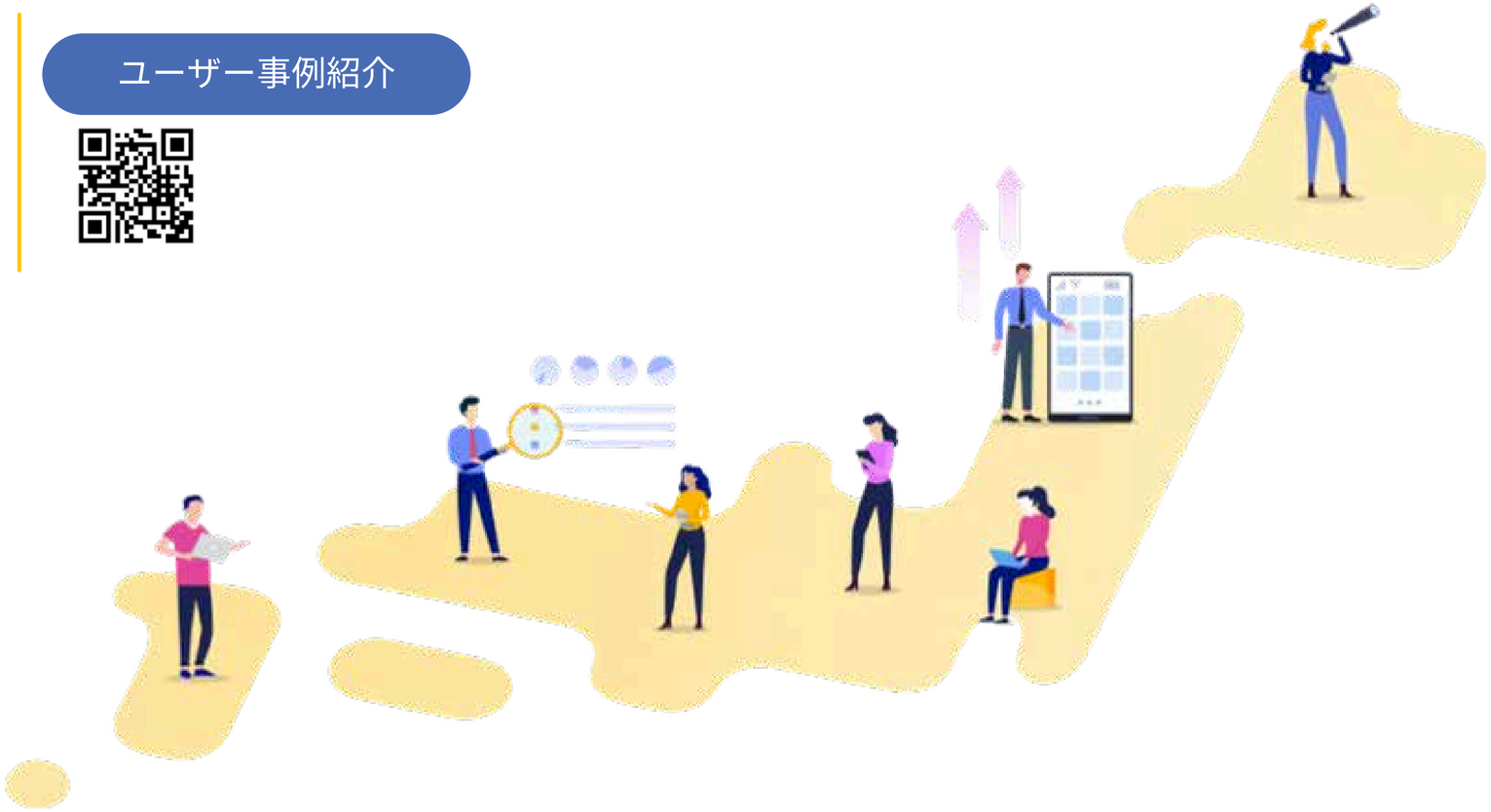
© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要（地域共生）

全国47都道府県のお客様、ならびに従業員とともに歩む事業展開

- 47都道府県出身の従業員がもたらす地域への深い知見と、全国の取引先との確かな信頼関係を構築
- 私たちは「寄り添うチカラ」で、人々の感動と笑顔を生み出します

ユーザー事例紹介



全国47都道府県のお客様



高知県のお客様により
2025年度に達成！

全国47都道府県出身従業員



富山県出身のメンバーにより
2025年度に達成！

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要（顧客層）

全国の地域社会のシステムやサービスを提供しライフステージをサポート

- 地域金融機関・地方自治体・地方百貨店へシステムやサービスを提供



金融機関

個人融資業務の受付・審査・債権管理システム、訪問調査サービス

公共機関

税金・国民健康保険・介護保険滞納管理システム・学務支援システム等の開発・販売業務受託（BPO）





小売業／EC事業者

販売管理・顧客管理などの基幹システム、ECサイト構築

コンタクトセンター

声紋認証、音声認識、会話分析、自動受架電システム



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要（沿革）

1972	**海外の情報機器・システム販売を行う、千代田情報機器株式会社を創業（12月2日）** ▼通信システム事業開始
1975	日本初のオンラインPOSシステムを開発・販売 ▼流通システム事業開始
1983	複数の個人信用情報機関を一括で照会可能な「個人信用情報照会システム」（MICSの前身）の開発、販売開始。 日本初の債権督促を行う「オートコールシステム」（TCS/CMSの前身）の開発、販売開始 ▼フィナンシャルシステム事業開始、▼CTIシステム事業開始
1986	個人融資の延滞債権管理を行う「個人融資債権管理システム（CMS）」の開発、販売開始
1999	▼eコマースシステム事業開始（2004年にECサイト構築パッケージシステム「ITFOReC」の提供を開始）
2000	延滞債権を初期から償却まで一貫して管理できる「延滞債権管理システム（TCS）」の開発、販売開始 **店頭市場（後の、JASDAQ市場）に株式公開（2月15日）** 株式会社アイティフォーに商号を変更（8月1日）
2001	インターネットを利用した「住宅ローン自動審査システム」の開発、販売開始
2004	小売業向け基幹システム「RITS（リッツ）」の開発、販売開始
2005	東京証券取引所 市場第二部 上場
2006	**東京証券取引所 市場第一部 上場（2022年東証の株式市場再編に伴い、東証プライム市場へ移行）**

詳細は当社ホームページを参照ください。

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

会社概要（沿革）

2008	法改正に対応した個人信用情報照会・登録システム「MICS2.0（ミックス2.0）」の開発、販売開始 地方税の徴収率を向上する電話催告システム「CARS（キャルス）」の販売開始 ▼公共システム事業開始
2012	国民健康保険料の電話催告BPOサービスを開始
2017	個人ローン業務支援システム「SCOPE 」の開発、販売開始 RITS決済クラウド「iRITSpay」、加盟店端末「iRITSpayターミナル」の開発、販売開始 ▼決済システム事業開始
2018	導入から運用まですべておまかせのクラウドサービス「IPaC（アイパック）」提供開始 自動受架電システム「ロボティックコール」を販売開始
2020	個人ローンの申込みから契約までを非対面で実現するローンWeb受付・契約システム「WELCOME」を販売開始
2021	AI を活用したサイバー攻撃対策サービス「CyCraft AIR」を販売開始
2023	Android版決済端末「SATURN1000F2」を販売開始 ブロックチェーン技術「Digital Safe」熊本県にて実証実験
2024	Agent Hubのサービス提供を決定
2025	AI 対話アプリ「ココボイス」のPoC を開始
2026	戦略投資を推進する子会社「アイティフォー・グロースキャピタル」設立

詳細は当社ホームページを参照ください。

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

主力事業概要（フィナンシャルシステム事業①）

4つのフェーズを網羅する高度なパッケージシステムを提供

- 単一機能の提供にとどまらず、全フェーズのデータをシームレスに連携
- 金融機関の業務効率化と貸倒リスク低減を実現

①受付

WEB、店舗窓口、電話（コンタクトセンター）など、多様なチャネルからの申込をシステムに集約



②審査

個人信用情報をシステムから照会し、迅速に結果を登録



③契約・実行

非対面によるWEB契約と同時に保証管理内容をシステムに登録



④請求・督促・回収・償却

銀行、ノンバンク、サービサーなど、業態別の業務プロセスに合わせた債権管理システムを提供

他にも最先端の督促ソリューションにより、回収業務の自動化を実現



© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

主力事業概要（フィナンシャルシステム事業②）

多彩な金融業界に対応するパッケージシステムを展開

- 顧客ニーズの調査・分析に基づく独自開発により、多様な金融業界の業務を支援
- 子会社の「シー・ヴィ・シー」では、債権管理に伴う調査サービスを実施

代表的なシステム

WELCOME	SCOPE	MiCS 2.0	CMS	TCS	Pay コレクト	CVC
ローンWEB受付・契約システム	個人ローン業務支援システム	個人信用情報照会・登録システム	銀行向け債権管理システム	ノンバンク・サービサー向け延滞債権管理システム	入金案内自動化システム	子会社 シー・ヴィ・シー

対象業務

①受付 ③契約・実行	②審査	①受付 ②審査 ③契約・実行	④請求・督促・回収・償却			債権管理に伴う調査

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

主力事業概要（公共システム事業）

自治体徴収業務や教育委員会業務を対象としたソリューションを提供

- 金融機関向けシステムの構築で蓄積した管理・回収ノウハウの活用を通して、自治体様の行財政改革をサポート

地方自治体



教育委員会



システム開発





業務領域拡大中



BeX
株式会社アイティフォー・ベックス

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.

IRに関するご案内

ITFORニュースメール配信サービス

最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、
ご登録のメールアドレスにお知らせいたします。
皆様のご登録をお待ちしております。

ご登録はこちら

https://ir.itfor.co.jp/mail/

統合報告書2026発行のお知らせ

このたび、アイティフォー統合レポート2026を
発行しましたのでお知らせいたします。
以下のQRコードからご覧いただけます。



https://ir.itfor.co.jp/library/integrated_report/

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.



- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えください。
- 本資料内の情報によって生じた影響やいかなる損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願いいたします。

© ITFOR Inc. All Rights Reserved.